

活動結果報告書

平成 28年 6月 30日

越前市議会

議長 城戸 茂夫 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日程 平成 28年 6月 4日(土曜日)～平成 28年 6月 4日(土曜日)

活動先 福井県中小企業大学校

活動目的 自主防災リーダー養成セミナー上級課程水害・土砂災害編参加のため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

- (1) 講義 水害・土砂災害からの避難力 by 松森和人氏 まちの防災研究会
約30名参加

●認知について

1.水害・土砂災害の種類

- ・内水・外水氾濫 ・高潮・津波 / ・傾斜地の崩壊 ・土石流 ・地滑り
- 土砂災害警戒区域（イエローゾーン） ・土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン） 県内では、福井市より越前市・敦賀市・美浜町の方が怖い；地質に関連している

2. 水害・土砂災害 被害の傾向

- ・全国では、市町村の97%以上が被災 洪水氾濫域は国土の10%ある
- ・避難場所の概要；洪水では70%、河川では90%以上 逃げる行動によって起きている 行動を変えれば助かる！
- ・高齢者が避難に要した時間 例；新潟豪雨時、三条市 逃げる時間は20分しかなかった 逃げるには時間がかかることを理解すべし 避難勧告から避難行動までの判断時間は平均20分 さらに20分を要している 計40分も

3. 水害・土砂災害の特性

- ・災害雨量について 治水限界～時間雨量；40～50ミリ 24時間雨量；200ミリ 土砂災害～24時間雨量；150ミリ これ以上の雨量は災害雨量になる
- ・まさ土；花崗岩の溶けたもの 花崗岩の地質分布；越前市・敦賀市・美浜町

・土砂災害が発生する癖 150ミリ/1日以上 of 降雨後、50ミリ/h以上の激しい降雨等による崩落を引き起こすきっかけ（トリガー）が存在する場合多い

- ・水害 市街地で川への流出量が増大 かつては溜まっていた
全部降雨が川へ排水 例；鬼怒川
-

4. 避難について

- ・防災行政の限界 実務は市町村に集中 財源やマンパワーの不足 地域社会の機能の弱体化
 - ・避難情報 今複雑化 この情報は参考程度で 足かせになっている
行政からの避難情報だけに頼ることは危険 判断情報は消防団でない 避難勧告が出されていれば助かったか 今の避難方法では助からない 災害対策基本法では、指定避難所へだが 収容しきれない所多い 自宅の2階への垂直避難も
-

●情報について

1. 関係する情報の種類

- ・気象情報 大雨警報・土砂災害警戒警報 記録的短時間大雨情報 特別警報他
- ・氾濫情報と洪水予報の関係 7割は深夜から早朝に発生
- ・気象庁の予報確度 80%超え ゲリラ豪雨の予測「WITHセンサー」
- ・避難情報 避難準備・避難勧告・避難指示；任意 警戒区域の指定；立ち入りを規制 法的拘束力もつ

2. 情報リテラシーと活用

- ・活用方法 行政はPUSH型 PULL型は自分で調べる 以下に取りやすくするかが大切 昔の半鐘は周波数がよく高低音 窓閉めていてもよく聞こえる

*災害から命を守るために ～安全な場所に 安全な段階に 避難する！

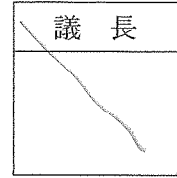
(2) 水害・土砂災害アクショントレーニング SDAT グループ別

1. 仮想の自治会をベースに水害・土砂災害避難対策を立案
グループごとに、提示された気象情報などから、どのような判断・行動をとるのか協議し決定しました。
 - ・全体状況設定 竜が谷区85世帯 294人 高齢化率30% 自主防災組織結成されて3年経過 4月に防災研修会実施
 - ・要配慮者名簿；番地、氏名、年齢、性別、支援項目、家屋、ハザード、備考記入あり
2. 台風の接近・進路・気象関連情報をもとに、時系列でどの対象者をどういうふうに避難させていくか、の実践訓練でした。どのグループも十分な対応が事前にできず、本番では避難しきれない結果になってしまいました。

(3) まとめにかえて

- ・この研修会では、実践に即したトレーニングが後半でグループごとになされ、とても緊迫しつつも、判断に悩みっぱなしだった。知識でそれなりの関連事項を学んでも、いざ具体的な実践活動では役に立たないというか、役に立たせ方がよくその場で判断できにくかった。結果、仮想ながらも、その町内の住民をしっかりと避難させることができなかった。これでは、実際の現場では、あらゆる気象条件や、発生時間帯のリスクなどを抱えたまま、自らの命を守ることで精いっぱいになってしまうのではないかとも思う。防災士となった以上、自らの命もさることながら、人の命をいかに救うか、いかに減災に持って行けるかが大きな課題だ。
- ・今後、この種の知識と実践的な行動・判断訓練の場はとても大切で必要だと思う。単に、防災士になったからということだけでなく、総じて町内、地域の役員さんレベルの方々、最低限の訓練を受講することが望まれる。11月13日には、地区防災訓練が予定されているが、定期的なかつテーマごとの具体的訓練を継続的に実施したほうがいいのではないか。
- ・「防災マップ」「防災マニュアル」が各町内で作成されてきたようだ。もっと地元民とともに、活用しより不備な点を改定し、いざっという時にみんな落ち着いて行動でき、みんなの命が守られるようにしていきたいものだ。

以 上



活動結果報告書

平成 28年 8月 7日

越前市議会

議長 城戸 茂夫 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日程 平成 28年 7月 30日(土曜日)～平成 28年 7月 31日(日曜日)

活動先 神戸芸術センター・神戸市立外国語大学

活動目的 「第58回自治体学校in神戸」参加のため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

<初日 7月30日>

(1) 記念講演 「日本型人口減少社会と地域の再生」 by 加茂利男氏

・1世紀ほど前関東大震災の恐怖を味わったあと、昭和の経済恐慌や日中戦争という暗い谷間の時代へ向かった。昭和2年自殺した芥川龍之介は手紙に「将来への唯ぼんやりとした不安」という言葉を残した。鋭敏な時代感覚を持つ文人だからこそ、世の中の空気を敏感に感じ取り、その不安に耐えられず、死に赴いたのでは。今の日本にもこれに似たような状況がある。数々の自然災害、政治は与党の圧倒的な勢力に押し流され、平和主義も、民主主義も、地方自治もどんどん壊されてきた。別の光景も見えてきた。安保関連法に反対する新しい運動の盛り上がり、シールズのような自分の頭で考え声を上げる人たちの行動が膨れ上がった。ヘイトデモを規制したように、小さな声を出し続ければ、やがて多数派になる。そういう可能性もはらんでいる。

1.人口減少というテーマ

・18世紀の産業革命以来近代社会は、工業化・都市化と人口増加の一途をたどってきた。その行き着いた果てに、今度は世界の広い範囲で人口が減少し、人間社会が縮小する新しい動向が出てきた。マルサスは「人口論」の中で、人口の増加を制限しないと、世界は貧困や飢餓に陥るという考え方を打ち出した。いま、ちょうどこの理論を裏返ししたように、人口の減少が経済や社会の危機を呼び起すという考え方が急激に強まっている。

・「日本型の人口減少社会」の特徴と問題点を考えると、2014年増田寛也氏の『地方消滅』が出て、自治体関係者にショックを与えた。人々の考え方や社会の制度を変えていくことで、出生率の緩和は可能なことを後回しにして、地方や自治体の消滅を強調したため、政治的意図でむやみに危機感をあおった結果になった。

アメリカは人口増加が先進国中で突出して高く、例外的な国だ。日本の人口急増急減は、戦後の日本型資本主義の特徴を映し出している。戦後日本は高度経済成長を遂げ経済大国になり、政府が企業の収益の拡大を国家的な最優先課題にし、企業をいろいろな方法で支援する「護送船団方式」政策をとったためだ。成長をけん引した主力産業は土木建築や製造業で、その労働力は、戦後ベビーブーム世代の大量の若い労働者だった。1970年代の石油ショック以来、金融業やサービス産業に投資が移動したり、海外に市場や生産拠点を移す、「脱工業化」や「グローバル化」が始まる。企業は収益を生み出し、それを国内に再投資しないで内部留保したり、海外生産をさらに増やすようになった。…1990年代に600兆とか800兆とかいう膨大な政府債務残高を作った。政府・企業が一体となって借金したり、公共事業を行ったり、株や不動産に投資したりしたが、波及効果をもたらさず、金融資産や不動産は実態のないバブル資産となり、雲散霧消し債務だけが残った。結果企業は雇用や勤労者の所得を圧縮することで収益を守るという方向に。アベノミクスの効果を実感できたのは、大企業や株式保有者などだけ。結果、若い勤労者が結婚して子供を産むことに前向きになれない社会ができあがってしまった。こうして人口減少社会が始まった。…ヨーロッパ先進国は、人口は横ばいで停滞しているが、日本のようには減っていない。最大の理由は移民の流入だ。ただ、フランスやスウェーデンでは、政府が子供を持つ世帯に、税額控除、児童手当の支給、育児休業、保育所増設という総合的で手厚い政策が行われた。

3. 人口減少社会の地域間競争 — 「地方創生」の問題点

・総人口が減っているなかで争奪戦が起こると、みんなの取り分の合計が減っていく「マイナス・サム・ゲーム」になる。勝ち組と負け組の差が、絶対的な違いになり、負け組の方が多くなっていく。ここに今の「地方創生」のディレンマもある。

・あるジャーナリストは、「地方消滅」時代の中で、村の人口を増やしたサクセスストーリーとして、下伊那の下条村を取り上げている。独自のアイデアを駆使し、国や県に依存しない政策で地域を活性化させ、人口を増やすことに成功した。例えば、単独事業で村の財政を傾け村営住宅をつくった。が今は、人口が減ってきている。自治体同士が取り合うゲームになっているので、個々の自治体がかんばっていい地域を作っても、みんなの取り分の合計が減少するマイナス・サム・ゲームで、負け組の方が多くなっていく。『地方消滅』は、国全体の人口が減っていく中で、すべての自治体をすくことはできないという考え方に立っていて、「選択と集中」で生き残らせることを提案し

ている。

OECDは、国際共同研究の結果として、出生率の回復には、子どもを持つ家庭への税控除、児童手当、育児休業、保育所の増設などの家族政策を国全体で行うことが必要で、この政策は相当な効果を発揮するという見方を打ち出している。対し、日本の「地方創生」政策は、個々の自治体に地方版総合戦略をつくらせ、「地方創生競争」をさせるやり方が基本だ。「人口ビジョン」をつくらせ、それを実現する戦略を考えさせることで、自治体同士の人口争奪ゲームを起こし、足の引っ張り合いにならざるをえない。であれば、出生率を全体として底上げする国の政策がどうしても必要だ。それらと連動し、地域レベルの「地方再生」政策が結びつかないと、人口緩和することにはならない。

(2) パネルディスカッション 「辺野古への新吉建設をめぐって争う国と沖縄県一憲法・地方自治から見ると、何が見えてくるか」

- ・コーディネーター；榊原秀訓氏
- ・パネラー；伊芸佑得氏、上里清美氏、島袋良太氏

「辺野古への新吉建設をめぐって争う国と沖縄県」 by 榊原秀訓氏

- ・国土の0.6%に、米軍専用施設総面積73.8%が集中

基地は沖縄経済歳代の阻害要因 基地関連収入；戦後直後約50%、1972年本土復帰時約15%、2014年度約5% 人口1人当たり；国庫支出金全国1位、地方交付税17位、国からの財政移転全国6位

①埋め立て承認の取り消しと訴訟

- 1 二つの場面における三つの訴訟の存在
- 2 国地方係争処理委員会の判断
- 3 和解による一時的決着

②是正の指示と国地方係争処理委員会における審理

- 1 是正の指示
 - 2 国地方係争処理委員会における国の主張の「修正拡大」
 - 3 国地方係争処理委員会の判断
 - 4 今後の展望と裁判所の存在意義
- ・地方分権改革の前後で、変わる国の法と変わらぬ国の政治 もっとも「オール沖縄」以後の政治の対抗関係も変化している。法（法治主義）と政治（民主主義）コラボが地方自治のためには必要である。法制度の改正に留まらない政治行政の変化のために、住民自治と団体自治を重視する住民の意見表明、運動や行動が必要である。

<2日目 7月31日>

(1) 分科会・講座

- 講座10「社会保障の基礎と当面する焦点を学ぶ」 講師；横山壽一氏

<社会保障の基礎>

-
- ① 社会保障とは何か 1. 社会保障が対象とする領域
2. 社会保障の意味 1) 社会保障の定義 2) 何を保障するか 3) 誰を保障するか
4) 誰が保障するか 5) どのように保障するか
3. 社会保障理念の形成—社会的責任・国家・権利
1) 社会保障理念の形成 2) 社会保険から社会保障へ 3) 福祉国家と社会保障
- ② 社会保障の基本原則と存立根拠
1. 現代社会の生活原理と社会保障の基本原則との併存と「対立」
1) 現代社会の基本的な生活原理＝自己責任の原理
2) 社会保障の基本原則 3) 二つの異なる生活原理の併存と「対立」
2. 社会保障の存立危機
1) 現代社会における自立・自助の限界
2) 社会の要因による生活の困難と貧困化
3) 貧困がもたらす経済への制約、貧困解決の経済的意義
4) 貧困がもたらす政治的対立と社会的不安定
3. 社会保障の歴史は自己責任と社会的責任のせめぎあいの歴史
- ③ 社会保障の役割と機能
1. 最低生活保証機能
1) すべての国民に対する最低限保障、生存権・生活権の保障
2) 各制度における保障機能と体系としての保障機能
2. 所得再分配機能
1) 応能負担と必要原理の組み合わせによる所得の再分配
2) 再分配のタイプ
3. 経済安定機能
1) 最低生活保障による個人消費の下支えと経済の安定化
2) 労働力再生産の維持による労働力の円滑な提供
3) 社会保障を通じた資金の流動と調整による景気調整機能
4) 社会保障による史上・雇用創出による成長への寄与
4. 社旗的安定・国民統合機能
1) 生活の安定による社会的安定の確保
2) 権利保障による国民統合
- ④ 社会保障の方法
1. 保険的方法 1) 保険とは何か 2) 保険の歴史 3) 保険の原則
4) 民間保険と社会保険 5) 社会保険の特徴
2. 公費による方法
1) 国の財政（国庫）
2) 自治体財政（都道府県財政・負担金 市町村財政・負担金）
3. 現金給付・現物給付
- ⑤ 最低生活保障
1. 最低生活保障の意義 1) 貧困の予防と貧困からの脱出
2) 貧困克服と発達保障 3) 貧困克服と社会発展
2. 必要生活保障の水準
1) 最低保障水準＝貧困ライン 2) 健康で文化的な生活水準
-

3) 最低生活保障水準の測定

⑥ 社会保障の財政と費用負担

- 1) 社会保障の財政原則
- 2) 必要十分な給付を確保するにふさわしい財源の確保
- 3) 利用負担のあり方

◎現地報告 「兵庫の地域医療と介護の現状と課題」 by 今西 清氏

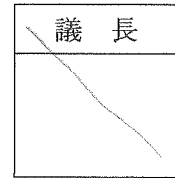
1. 地域医療構想の影響 医療圏の均衡基準が揺らぐ 国民皆保険が崩れる 医療過疎化の広がり 大都市への集中
2. 前公立病院改革で兵庫の地域医療は大打撃 病床削減の具体化と新公立病院改革

●まとめにかえて

・今回は3回目の自治体学校の参加になった。毎回多角的な視点から、今の国や自治体の抱える問題点と課題に深く広くメスを入れたものになりました。「みんなが先生、みんなが生徒」というこの学校の原点に立ち、一昨年来騒がれてきた「憲法、地方自治、民主主義」を実感できる実践を確認しあいました。そこから、解決の道筋を見出していくことが今回のメインだったようです。

・初日の加茂氏による記念講演は、グローバル化が進む中で多くの国で広がる人口減少という事態を取り上げ、「地方消滅論」の根拠になっている現象は、戦後の日本資本主義に想起されたもので、それへの対処としての「地方創生政策」は、すべての自治体を救うことはできないとして、自治体間での人口争奪をあおろうとするゲームであることを明らかにしました。また、出口の見えない状況の中でも、真に内発的発展に努力する自治体が存在していて、本当の「地方再生」の姿が見いだせるという指摘は、なかなかでした。

・したがって、このような機会は、議員以外の現場の自治体職員も多く参加されています。当越前市の職員は全く参加されていないのでしょうか？やはり日々の業務に埋没していると、先が見えにくくなる場合もあると思います。「研修」「学習」は、より同様な認識を抱く者同士の集まりなどで大いに意識が高揚させられることを改めて実感できました。また次回もできるだけ参加したいと思います。



活動結果報告書

平成 28年 9月 17日

越前市議会

議長 城戸 茂夫 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日程 平成 28年 8月 26日(金曜日)～平成 28年 8月 27日(土曜日)

活動先 富山県民共生センター・産フォルテ

活動目的 「第8回生活保護問題議員研修会」参加のため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

<初日 8月26日>

(1) 基調報告 生活保護「改革」と生存権の保障 by 花園大学 吉永純 氏

・生活保護世帯の苦境 ～削る生活費 入浴回数 「社会的孤立化」「人生そのものが檻に閉じ込められた感じ」 ・貧困率の年次推移 ～グラフ 貧困子育て世帯 20年で 2.5 倍 ・学生、若者の貧困も ・アベノミクスの行き詰まり 大企業栄え、民減ぶ ・労働・社会保障の集中的豪雨改悪 ～生涯ハケン等労働規制の緩和 新規 70 歳からこれまでの 1 割負担から 2 割に ・引き下げ 3 重苦 ～住宅扶助の減額、冬季加算 8.4%減額、基準生活費の引き下げ（3 回目）

・政策動向のまとめ ○貧困；拡大と深刻化 ○社会保障；集中豪雨的な改悪 ○生活保護；出番！ ○生活保護の政策的動向；基準の引き下げ、法改正と運用、生活困窮者支援

・地方議員5つの役割 生存権、生活保護の原点に立ち返った取り組みを！

1. 生活困窮者を「発見する」
 2. 生活保護を「知らせる」
 3. 生活保護を「活用する」
 4. 利用者に「寄り添う」
 5. 制度や運用を「帰る」
- 地方議会内外でのソーシャルアクション

(2) 講演1 「なぜいま下流老人なのか」 by 聖学院大学客員准教授 藤田孝典

・日本の貧困の現状 ～国民の貧困率（相対的貧困率） 16.1% OECD加盟国34か国中 6番目に高い！ 高齢者の貧困率；18% 多くの単身者が貧困 ・下流老人（生活保

護基準相当で暮らす高齢者およびその恐れのある高齢者)の増加 700万人いると推定 今後も増加傾向 ・下流老人の暮らしは 家族友人がおらず、一日中ひきこもったままテレビを 収入が少なく3食まともにとれない 家賃が払えず漂流生活をしている 医療費が払えないため、通院や入院治療を拒否 自宅療養

- ・下流老人の特徴；1.収入が少ない 2.十分な貯蓄がない 3.頼れる人がいない
- ・下流老人の問題の本質；あらゆるセーフティーネットを失った状態
- ・下流化を防ぐノウハウ；社会保障・福祉制度のよりよい活用 プライドを捨てる 経済的に独り立ちできていなくても「お互いさま」の精神で助け合う 収入源を多元化しておく 可能な限り貯蓄をしておく 地域社会へ積極的に参加する
- ・しあわせな下流老人の共通点 ～お金がなくても楽しめる、お金がないことを補う知識や技術がある、家族や友人などの人間関係に恵まれている、さまざまな福祉制度を上手に活用できる ⇒生活をガウンサイジングし、周りとの助け合いながら暮らしていける人！
- ・無料学習会・居場所の広がり～学習支援 901自治体が任意で実施 ・地域発子どもの居場所「子ども食堂」 急速に盛り上がり中 全国で300カ所以上 福井県4カ所
- ・自治体の役割 ～実態調査→貧困対策→検証→改善 将来の社会的損失を試算

(3) 参加者交流会

- ・全国から集まった議員さんらと、軽食交えグループごとで紹介・名刺交換など 私にも発言しました

<2日目 8月27日>

(4) 第6分科会 「低所得者への医療保障（国保、無料低額事業、医療扶助）を考える by 大阪社保協事務局長 寺内氏 吉永純氏

○「岐路に立つ国民健康保険」by 寺内氏

国保の歴史 農民と自治体が作り上げてきた国保～岩手から学ぶ 国保は貧困民衆のための医療制度～だからこそ10割給付は岩手から始まった いま、国保料の高さは尋常ではない 社会保障だからこそ保険料政令軽減・条例減免と一部負担金減免がある 2018年度から国保都道府県単位化に これからの焦点～都道府県国保運営方針がどう作られるか、その中で市町村が住民を守る立場に立つかどうか、地方自治を放棄するのかどうか、地域でのたたかいがそれを左右する

○「低所得者への医療保障～無料低額診療事業と生活保護・医療扶助」by 吉永氏

病気と貧困の深い関係 生活保護の開始理由は病気が最多 国民皆保険空洞化進行…無低診出番 医療制度の集中豪雨的改悪 ・無料低額診療事業とは～第2種社会福祉事業 地方税・法人税が減免 医療ソーシャルワーカーの支援付き 全国で591施

-
- 設が実施 特徴 ; 1. お金のあるなしに関わらず、必要な人に医療を提供する制度
 2. 医療ソーシャルワーカーの支援付き ・無料低額診療事業の動向 基準
 ・無料低額診療事業の課題 ; 知られていない、制度があいまい、薬代に適用されない、持ち出し論 (病院の経営をどう考える) ・生保医療扶助 ; 国保並みの水準の医療提供 課題1. 医療券の問題 2. 医療扶助費は生保費の半分、常に抑制的に
 3. 医療扶助は生保にならないと利用できない 医療扶助だけの適用はない
-

(5) 講演3 「反貧困の財政と地方自治」 by 埼玉大学 高端正幸氏

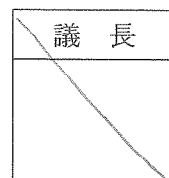
- ・既存の二項対立施行を乗り越える 「社会保障の削減か、充実か？」 「弱者切り捨てか、救済か？」 「財政再建か、財政拡大か？」
- 1. 日本は残余主義的政策基調が色濃い国である ・「残余主義」 ; 自助・自立・自己責任を重視 ・「普遍主義」 ; 生活上のニーズを社会的にカバーすることを重視
- 2. 日本の社会保障の残余主義的現状 就労と家族的ケアによる自助・自立を強いる社会 3. 戦後日本の「土建国家財政と自己責任社会 「土建国家」財政で社会が安定した背景
- 3. 生活保護戦略としての普遍主義の優位性 リスクの普遍化 (だれもが生活の困難に直面しうる社会) リスク対応のコストをだれが負担するのか
- 4. 小括 : 明らかに 普遍主義 > 残余主義 日本の現状は深刻 充実の仕方が重要
- 5. 残余主義は社会を分断し、財政調達を困難とする 日本の中間層の租税負担感は以上に高い なぜか？
- 6. 普遍主義は社会を信頼で満たし、財源調達を実現する
- 7. 不信社会日本の残余主義的悪循環 道徳・倫理の問題でなく、社会・政策としての問題である
- 8. 社会保障改革 : 貧困・排除を生み出さない社会へ ケアサービスにおける普遍主義の「実質化」 最低所得保障の確立 「事故負担の強化」 + 「低所得者への軽減策」でなく、自己負担の抑制/廃止を志向すべき
- 9. 税制改革 : 短期と中長期を切り分ける 短期～公平性を高める税制改革 中長期～受益観に支えられた & 普遍主義を実現する財源構造へ
- 10. 普遍主義・信頼と地方自治の重要性 住民に近い存在としての地方自治体 人々と政府との接点、かつ地域社会の一体性 = 政府への信頼・住民相互の信頼を生み出す主体として、地域社会において機能することができるか？

●まとめにかえて

今回は2回目の参加になった。北陸富山での開催とあって、近場で良かったと思いきや、意外と交通面は便利良くなかった。というのも、北陸新幹線も利用したが、当然金沢からの始発であり、また帰りは金沢までは地方鉄道利用となってしまった。やはり、従来のような直通の特急があれば乗り継ぎの時間は不要だったことを考えると新幹線の現状を憂えずにはいられない。

参加中、注目したのは『下流老人』を著し、このところ一躍脚光を集めている若手研究者、藤田孝典氏だ。高齢者はいうに及ばず、若者や中年の働き世代もこのままいくと、貧困の落とし穴に入り込んでしまう、そんな可能性が高まっている日本の現状とのこと。地域の機能やコミュニケーションの役割が重要なことも再確認できた。また、財政面から切り込んだ、これまた若手の高端氏の持論はとても説得力に富むものだった。残余主義と普遍主義の対照から歴史的な背景、そして国際的観点も備えての解説は、参加者の溜飲を下げるものだった。お金について苦手意識が強いので、なおさら今後こういう観点からの学習も大切だと痛感した。

いつも思うことは、これらの貴重な講演などもっと多くの同僚たちと一緒に参加し、いろんな話や交流を重ねてみたいと思うのだが。あまりお勉強に積極的な方が…。また次回もできるだけ参加しよりパワーアップしたいと思います。



活動結果報告書

平成 29年 1月 15日

越前市議会

議長 城戸 茂夫 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日 程 平成 29年 1月 12日(木曜日)～平成 29年 1月 13日(金曜日)

活動先 全国市町村国際文化研修所

活動目的 市町村議会議員研修会「防災と議員の役割」 参加のため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

◎第1日 1/12

165名参加（当初予定60名）

(1) 講 義 「地域防災の考え方と向上」 by 室崎 益輝氏

ひょうご震災記念21世紀研究機構副理事長

①なぜ、地域防災なのか（必要性）

- ・減災の考え方と地域 実践的に解釈すると、「対策の足し算による被害の引き算」になる
- ・地域防災の特質；地域の助け合い（協働性）、地域に根ざす（密着性）、地域の主体性（自発性）
- ・阪神淡路大震災と東日本大震災は、防災のための「地域での取り組み」が欠かせないことを、被災や復興を通して教えてくれた ➡ 法改正

②いかに、地域防災を進めるのか（方向性）

- ・課題 資源の確保、体制の構築、対応の練達、環境の改善、知恵の伝承
- ・減災協働 行政、コミュニティ、事業所、NPO が連携する態勢を作る
常備、消防団、防災ボランティア、自主防災組織の4層で
民生児童委員、消防団員、社会福祉士、防災士など連携し安心ネット
ワークを形成する 「防災隣組」の構築
- ・互助避難 「てんでこ」でなく「みんなで避難」 助け合って迅速確実に避難する
個別非難の計画 避難装備の確保
- ・減災教育 地域で減災教育を実施 公民館講座、防災訓練、ワークショ

ップなどを活用 みんなで楽しみながら学べる地域イベントを

(2) 講 義 「自治体の危機管理」 by 鍵屋 一氏

跡見学園女子大観光コミュニティ学部教授

①地域防災計画における重要課題 from 土木学会

- ・防災・減災マネジメント ⇒ 減災目標の設定と達成に向けたマネジメント・サイクルが導入されていない
- ・被害軽減 ⇒ 地域連帯、関係者や地域住民との協働の内容が希薄 他
- ・防災・減災サイクル リスクマネジメント（危機を予測する力・危機を予防する力）・クライシスマネジメント（危機に対応する力）

(3) 事例紹介 「災害直後 復旧・復興期における行政活動」by 佐藤健一氏

元気仙沼市危機管理監 コーディネーター；鍵屋 一氏

①災害前の取組み 学校を核とした地域防災力の向上 防災教育の位置づけ

〜継続できる仕組みづくり 津波防災マップ 津波シミュレーション 被害想定
の検討 避難シミュレーション 防災教育 過去の災害の掘り起こし… 避難困難対策 多岐にわたり実践的に実施

②東日本大震災 M9.0 地盤20メートル以上上下 地震と同時の電源、通信

の喪失 想像する中での初動対応 災害の実態（映像にて） 電源・通信手段の多重化を！ 避難誘導の情報伝達；伝達手段の多重化の必要性
地域防災計画等に基づく対応が基本も、概念的から定量的評価を BCP, OCP PDCA（平常時の図上演習等） 活動マニュアル

③今後への備え ・課題；徹底的にとことん考えお消えることをイメージする

（行政・住民） イメージしたことに備える（実動訓練） 住民自身が避難するという気持ちをもつこと 組織の防災意識の向上 防災の戦略が必要 対症的ではダメ！

- ・防災基本計画修正のポイント リスク+クライシス 定量的評価 事業継続計画、活動マニュアル PDCA 定量的評価

- ・津波防災の基本的な考え 防災施設の整備、防災の観点からのまちづくり、防災体制の充実、L2装丁に基づくまちづくり計画の策定

- ・災害の正しいイメージづくり 訓練：いざという時に体が動く

要援護者と支援者（名簿の事前配布）安全な場所の確保（避難困難区域の抽出）

(4) 演 習 「災害時の行政活動」 by 鍵屋 一氏

①ワールドカフェ形式で 「岩手県大槌町幹部職員の話を読んで」

- ・テーマ；大災害時に行政が効果的な対応をするために
- ・災害イメージづくりのプロセス

1. 災害に学ぶ 2. 課題、教訓、知恵を抽出する 3. ワールドカフェで話し合っ、知恵、教訓を共有する

- ・大災害後、行政は何をする？ 災害対応をうまくやるには？ 5つ以上を付箋に簡単に記入する 具体的なアイデアを3～5点に絞り、A4用紙に記入 他のテーブルのアイデアを見に行く レベルが高い・ユニークだと思ったら赤シールを貼る
- ・加藤のピックアップ項目 ～災害対策本部の運営 実際の現場を見ていない 県からうるさく言われた 近隣市町村からの支援物資搬入 職員OBが支援に 人事異動後は壁ができて動かなくなった 人が倒れる事態に 被災している職員もいて職員を亡くす防災体制だった 派遣職員は2～3ヶ月のみ 継続性なく新人来ても一から始め疲れる 行政改革で人減らしていた 消防など広域的な連携が必要

(5) 交流会 激しいワールドカフェ演習後は、楽しい参加者全員の交流会

- ・テーブルごとに7～10名配置 アルコールもあり立食にて 他の自治体議員との名刺交換やご当地の自慢・苦労話などフリートークにて 越前市ということで「越前ガニ」はよく知られていて、食べに行きましたよという声が複数寄せられた

◎第2日 1/13

(6) 事例紹介 「地域防災における議員の役割」 by 坂本 茂雄氏

高知県議会議員 コーディネーター；鍵屋 一氏

①マンション防災会、高知市下地地区防災連絡会の取組みを通して

- ・阪神淡路大震災の教訓；災害は社会の脆弱性を襲う！
- ・居住地区で取り組んだ防災活動の事例紹介 人口1.6万人 標高0～2m 津波からの居避難場所はビルのみ
- ・マンション防災会活動；自主防災会 134世帯で組織 防災訓練 防災講演会毎年実施 防災マップ、安否確認プレート・防災手帳を作成
- ・地域のコミュニティ防災の取組み 2012年11連合組織で 会費千～2千円 啓発・学習・計画づくり 津波避難行動計画、津波避難ビル指定、避難マップの作成
- ・事前復興計画の必要性 ～鍵屋先生のアドバイス これまでの防災は、被害を受けるダメージを強調しすぎ「暗い」イメージ 反対に「幸せ」になるという考えを取り入れることに 復興が遅れると、若い人がいなくなり、人口の少ない町に 復興が早ければ、若い人もその街で頑張ろうという気持ちになる 災害を乗り越えて幸せになる物語を作ってい

きたい 今後は量の拡大と質の向上が課題

②議員として、地域防災に関わる中で

- ・議会での政策提言と実践の往復運動
- ・行政の情報を地域に提供する
- とともに、橋渡し役
- ・多様なネットワークを地域防災に活用
- ・事務局的な役割

(7) 講義 「地域防災力を高める」 by 鍵屋 一氏

- ①大災害は忘れない頃にやってくる
- ・貞観の時代（9世紀後半）例；864年阿蘇山噴火、887年M8以上の三連動地震
 - ・天正・慶長の時代（16世紀後半～17世紀前半）例；1605年M8以上の三連動地震
 - ・元禄・宝永の時代（18世紀前半）例；1707年M8以上の三連動地震、富士山噴火
 - ・大正・昭和の時代（20世紀前半）例；1923年関東大震災、1944年東南海地震、46年南海地震、48年福井地震
 - ・平成の時代 1995年阪神淡路大震災、2011年M9の東日本大震災 20XX年首都直下型地震・西日本大震災・富士山噴火？ 首都直下型地震発生確率は70%！（交通事故で負傷20%）
- ②熊本地震 益城町なぜ被害拡大したか～町職員不足、職員避難所に張り付き本部が弱体、町も職員もマネジメント不足
- ・多くの建物崩壊～耐震基準の地域係数が0.8
 - ・庁舎・代替施設～スペース不足
 - ・自治体間連携を進めるために～人数よりもノウハウのある人材がマネジメントを担う体制づくりが必要
 - ・防災スペシャリスト職員を育成！
- ③復興計画の課題 兵庫県南部地震では、ほとんどの人が即死
- 凶器はマイホーム 死因の83.3%は建物倒壊による 壊れたのは、古民家や木造アパート
- ・命を守る地震対策の優先順位 事前対策；1.住宅の耐震化 2.家具止めなど室内の安全化
 - ・住宅耐震化の被害軽減効果 ～個人任せ「自助」自治体がやるべき！
 - 例；東京・神奈川・千葉の老朽化木造住宅190万戸（2兆円弱）の耐震化で67兆円（首都直下型被害95兆円の70%と仮定）の被害軽減
 - ・これからの防災は？ 損失を減らす防災から「魅力増進型」の防災へ 日常から人や地域の魅力づくりを進めながら災害時にも安全安心な取り組み
 - ・耐震化政策の新戦略 現状は持ち家・高所得層のみ支援
 - セグメント別（賃貸・高所得 持ち家・低所得 賃貸・低所得）対策必要
 - ・高齢者標準社会の耐震化推進策 耐震化の意欲は高くないが、バリアフリーのニーズは多い 経費が高くない 合わせ技で 0.7の部分補強に補助・バリアフリーと合わせ技なら補助率アップ 簡易補強にも補助

(8) 演習 「災害時の議員の役割」 by 鍵屋 一氏

- ①ワークショップ 宮城県東松島市の議長、議員の話を読んで
- ・議員は何をする？ 議会はどうなる？ 災害対応をうまくやるには？
→ 課題・教訓・知恵を5つ以上付箋に記入
 - ・テーマ；大災害時に議会、議員が効果的な対応をするために
加藤のピックアップ項目 ～議長・議会のマニュアルづくりの必要性
日ごろの関係機関・個人との人脈づくり 避難所運営で弱者と健常者の
配置 議長の役目は取りまとめ役 議員は担当地区配置を設定 トイレ
設置課題 議員は何しても大きな存在だが住民との橋渡し役を 災害対
策本部の中に議会を位置づける 議員としてやってはいけないことはス
タンドプレーとリーダーを超えないこと
 - ②災害前の議会・議員の役割
 - ・議会・議員の災害時のルールが必要（マニュアル作成、BCP作成など）
 - ・議員自身の知識、行動力向上 ・政策提案機能
 - ③災害後の議会・議員の役割
 - ・議会活動の在り方 特別委員会設置 ・議員活動の在り方（地域・市
民と行政の橋渡し） 地域・被災者支援 など
 - ・情報収集、発信、共有 議員が地区担当決め情報収集 情報の一元化
議長は災害対策本部に常駐
 - ④議会の「サイレントタイム」を！
 - ・対策本部が行う予防・応急対策中は、議会活動を休止
 - ・執行機関が説明を物理的に可能になる時期以降に再開を
 - ・地域の支援活動 地域リーダーの一員として
 - ・情報収集と災害対策本部への提供 議長に窓口一本化
 - ・自らが被災しないように準備する
 - ・執行機関任せにしない 平時から議会・議員の政策形成能力向上を etc.

(3) 研修をふりかえり

今回の研修会は、以前からの関心事であった「防災」のテーマで、特に議員（議会）としての立場での役割や取り組み方をマスターすることに目標を置いて参加した。どの研修会に参加しても感じるが、各ご登壇・ご指導の諸先生方の膨大な資料による、講義・演習パックの短期集中特訓が繰り返されていくので、ある意味、咀嚼がままならない。学生時代なら十分対応できたであろう事柄も以前よりも時間がかかる。しかしながら、そんな不安感を抱かせない位の課題や興味深い飽きさせないトークにいつの間にか学生時代に戻り、授業を受けている姿にも気づかされた。まんざらでもない自分の存在感も見出された。

以前参加の「まちの防災研究所」主催の研修会では次のようなまとめをしていた。

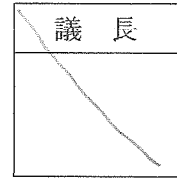
「知識でそれなりの関連事項を学んでも、いざ具体的な実践活動では役に立たないというか、役に立たせ方がよくその場で判断できにくかった。結果、仮想ながらも、その町内の住民をしっかりと避難させることができなかった。これでは、実際の現場では、あらゆる気象条件や、発生時間帯のリスクなどを抱えたまま、自らの命を守ることで精いっぱいになってしまうのではないかとも思う。防災士となった以上、自らの命もさることながら、人の命をいかに救うか、いかに減災に持って行けるかが大きな課題だ。

- ・今後、この種の知識と実践的な行動・判断訓練の場はととても大切で必要だと思う。単に、防災士になったからということだけでなく、総じて町内、地域の役員さんレベルの方々には、最低限の訓練を受講することが望まれる。11月13日には、地区防災訓練が予定されているが、定期的なかつテーマごとの具体的訓練を継続的に実施したほうがいいのではないか。
- ・「防災マップ」「防災マニュアル」が各町内で作成されてきたようだ。もっと地元民とともに、活用しより不備な点を改定し、いざという時にみんな落ち着いて行動でき、みんなの命が守られるようにしていきたいものだ。」

今回の研修会も同種の内容もあったが、議員（議会・行政）としてのスタンスが阪神淡路大震災や東日本大震災の悲痛かつ重要な教訓を通して勉強できた。より、自分たちの立ち位置が明確になってより責任の重みを改めて感じた。今後の議会・議員活動で、政策提案や地域や議会をも巻き込んだ実践的な活動をしていきたいと思えます。

特に、住宅の耐震化については、より安全・安心なまちづくりに生かすべく次期定例議会でも一般質問等取り上げていく予定です。

以 上



2-4
-9
-10

活動結果報告書

平成 29年 1月 25日

越前市議会

議長 城戸 茂夫 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日程 平成 29年 1月 19日(木曜日)～平成 29年 1月 20日(金曜日)

活動先 全国市町村国際文化研修所

活動目的 市町村議会議員研修会「自治体財政の見方」～健全化判断比率を
中心に～ 参加のため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

◎第1日 1/19

193名参加（当初予定140名）

(1) 講 義 「地方自治体の財政運営と議員の役割」 by 稲沢 克祐氏

関西学院大専門職大学院経営戦略研究科 教授

●自治体の財政運営における議員の役割

- 1) 財政民主主義；①租税や公債など、国民に貨幣的負担を負わせる政府の行為、その前提になる経費支出については、議会の議決を通じて国民の承認を得る
②歳入歳出は、予算という形式の文書にして議会の承認を得なければならない
③歳入歳出の結果は、決算という形式の文書にして議会の承認を得なければならない
- 2) 予算と決算 ①「決算は終わったことだから…これからの予算の方が大切」
⇒ 「決算の結果を見て、予算を審議する」予算に生かす
②決算から予算へ 連続性で考える 決算審査における質問「〇〇という政策課題に対して、××の対応が求められているのではないか」⇒行政側の答弁「検討します」 予算審議における質問「決算審査の氏に質問し、検討しますとされた××については、どのような検討がなされたか」追及

●財政分析指標の意義と考え方

- 1) 指標の意義；財政状況を知らせるシグナルであり、指標
健全な財政運営とは？ ①年度間の調整も含めて収支均衡が確保されている

こと ②自治体独自の政策に取り組むための現金が確保できていること

③借金返済の負担能力などが安定的に確保されていること

2) 財政運営の目指す姿、分析の視点、指標という理解

①自治体財政に求められている姿とは ～・財政規律が堅持されていなければ
ならない 収支均衡が確保されていること 財政の「健全性」と「起債余力」

3) 財政分析指標 ①財政規律の堅持 ・実質収支比率 連結実質収支比率 将来負担比率 ②高品質な財政運営 ・経常収支比率 公債費負担比率 実質公債費率 ③自律的な財政運営 ・自主財源比率 地方税比率 一般財源比率 公平（衡平）な受益と負担 ・受益者負担比率 世代間負担比率 他

4) 分析指標の見方

健全性指標；①形式収支 = 歳入決算額 - 歳出決算額 ・分析：赤字の場合⇒繰上充用 ②実質収支 = 形式収支 - 翌年度へ繰り越すべき財源 決算カード見て ③実質収支比率 = 実質収支額 / 標準財政規模 × 100 経験的に 3～5 パーセント程度が望ましいとされる ④単年度収支 = 当該年度の実質収支 - 前年度の実質収支 できれば、単年度収支が「0」になっている状態 ⑤実質単年度収支 = 単年度収支 + 実質的な黒字要素 - 実質的な赤字要素（実質的な赤字層租：財政調整基金取崩額）

●財政健全化法と予算審議

1) 法施行 7 年を経て ・H26 年度財政再生団体 1 団体

2) 健全化判断比率 4 指標 ・実質赤字比率 ・連結実質赤字比率 ・実質公債費率 ・将来負担比率

3) 財政健全化法の視点からの予算審議 健全団体にこそ求められる議員の監視
⇒ 早期健全化団体の議員になったつもりで、予算審議に臨む

(2) 講 義 「自治体財政指標の見方」 by 小室 将雄氏

有限会社監査法人トーマツ行政経営推進室 サブリーダー 公認会計士

●自治体財政指標

①財政状況資料集 ・総括表 ・普通会計の状況 ・各会計・関係団体の財政状況及び健全化判断比率 ・財政比較分析表 ・経常経費分析表 他

●自治体財政指標の概要 <資金繰り指標> 1. 形式収支 = 歳入総額 - 歳出総額 2. 実質収支 = 形式収支 - 翌年度に繰り越すべき財源（支払繰延額+事業繰越額） 3. 実質収支（赤字）比率 = 実質収支（赤字）額 / 標準財政規模 3～5パーセント程度が望ましいとされる 4. 連結実質赤字比率 ; 公立病院や下水道など公営企業を含む「地方公共団体の全会計」に生じてい

- る赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したもの。
- <歳出構造> 1. **経常収支比率** = 経常経費充当一般財源 / 形状一般財源 + 減税補てん債 + 臨時財政対策債 70~80%が望ましい
2. **義務的経費比率** = 義務的経費 / 歳出合計 50%前後に達すると硬直化していると言われる
- <公債費負担> 1. **実質公債費比率** = [(元利償還金 + 準元利償還金) - (特定財源 + 元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額 算入額)] / 標準財政規模 - (元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額 算入額) 18%以上になると起債許可団体 25%以上になると早期健全化団体 35%になると一般公共事業の起債も一部制限
2. **交際費負担比率** = 交際費充当一般財源 / 一般財源額
- <人件費負担> 1. **人件費比率** = 人件費 / 歳出総額 2. **ラスパイレス指数** 地方公共団体の一般行政職の給料額と国の行政職棒級表の額とを比較算出し、国を100としたもの
- <歳入構造> 1. **財政力指数** = 基準財政収入額 / 基準財政需要額 指数が1未満の自治体には地方交付税が交付 過去3年間の平均値をとる
2. **自主財源比率** = 自主財源 / 歳入総額 地方財政の自主性を高める意味で、この割合が高いことが望まれる
- <ストック指標> 1. **将来負担比率** = [将来負担額 - (充当可能基金額 + 特定財源見込み額 + 地方債現在高等に係る基準座右性需要額算入見込み額)] / 標準財政規模 - (元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額) 都道府県では400%、市町村では350%以上になると早期健全化団体となる

(3) 交流会

・参加者同士、食堂でテーブルごとに会食しつつ、名刺交換も交え、交流を深めました。中には、5~6人でご参加されている議会もありました。そういう意味では、オンリーワン参加は寂しいものがあります。

◎第2日 1/20

(4) 演習 「財政指標分析に関するグループ演習」 by 小室 将雄氏

シニアスタッフ・公認会計士 横田 慎一氏

・4教室に分かれて、6人のグループで課題・演習をしました。私は大教室の第8グループに所属。グループ内参加者は皆さん第1期の方々でしたが、知識は私以上に確保されていて初めやや気おとりしました。そういうことも考えられ

たので、前日夜事前に与えられた「H26年度財政状況資料集 総括表」に目を通し、演習の際活用すると思われる項目に関する数値を調べメモしておきました。実際に当日は少しばかり役に立ちました。演習内容は、3つの自治体のうち1つの自治体が各グループで選定され、「健全化判断比率」「資金不足比率」「資金繰りの状況」「交際費負担の状況」「人件費負担の状況」「さいっふつ構造の状況」「歳入構造の状況」「ストックの状況」などを事前に与えられている資料から分析し、「主な財政上の問題点」「当面の対策」「中長期的な課題」の3つをまとめていくというものです。

私のグループでは、〇県S市の資料が選定され、各指標について各自読み取れることを自由に討論しながらまとめていきました。ただ、時間的には30分くらいしかなく、みな焦りながらも活発な論議がなされました。進行役も慣れた方でうまく全体をリードしていただいたので時間内に間に合わせることができました。

わがグループのまとめとしては、「・財政上の問題点として、人件費削減の対策は取っているが、財政での硬直化が続いている。空港事業となっているが身の丈に合った事業内容が求められる。・当面の対策として、人件費が抑えられているので、歳入を増やすことが大切。具体的には交付金など要求すべき。・中長期的な課題として、空港関連の都市整備を着実に実行していく中で、税乳を増やすこと。」とし発表。

(5) 講義 「演習のまとめ及び今後の自治体財政のポイント」 by 小室 将雄氏

●地方財政を取り巻く最近の動向

- ・経済財政諮問会議の位置づけが重要視されています

1. 改革工程の明確化とK P Iによる達成度評価 経済財政運営と改革の基本方針2015＝骨太の方針2015（改革工程について）H27.6.30閣議決定

計画期間の当初3年間（2016～2018年度）を「集中改革期間」と位置づけ、「経済・財政一体改革」を集中的に進める 歳出改革、歳入改革それぞれの進捗状況、K P Iの達成度等を評価 2020年度の財政健全化目標を実現する

2. 地方財政制度の改革

経済財政運営と改革の基本方針2015＝骨太の方針2015（改革工程について）
H27.6.30閣議決定

主要分野ごとの改革の基本方針と重要課題 ～地方行財政改革・分野横断的な取り組み 人口減少などの社会構造の変化を踏まえ、歳出増加を前提とせず、国・地方ともに徹底的な抑制や債務の圧縮に取り組む必要がある 公共サービスに関する情報の「見える化」を図りながらエビデンスに基づくP D C Aを徹底する

- ・骨太の方針が進化・深化しています

経済財政運営と改革の基本方針2016（抄） H28年6月2日閣議決定

1. 経済・財政一体改革の着実な推進 改革の時間軸を明確化する改革工程表と、その進捗管理や測定に必要となる主な指標であるKPIを定めた経済・財政再生アクション・プログラムに基づいてPDCAサイクルを実効的に回していく
2. 地方行財政改革・分野横断的な課題 ～先進的自治体の経費水準の基準財政需要額算定への反映（トップランナー方式）の導入に際し、その趣旨、経費の算定基準、今後のスケジュールをホームページで公表
窓口業務のアウトソーシングについては、全国展開を進める

◎健全化判断比率等の対象について

1. 実質公債費比率の推移 都道府県・市町村・合計の推移グラフ
2. 将来負担比率の推移 都道府県・市町村の推移グラフ
3. 財政再生団体及び財政健全化団体の推移 具体的団体名と数表

◎「見える化」が徹底的に進められます

- ・総務大臣提出資料にて「見える化」を提示
- ・地方公会計を他の取り組み状況と並行して全国比較で公表
- ・従来の決算情報のさらなる「見える化」

◎「トップランナー方式」の導入が進められています

- ・H29年度以降に導入が検討されている項目

例；図書館、公民館、児童館等管理、窓口業務 他

●統一的な基準に基づく地方公会計の推進と公共施設等総合管理計画の策定

1. 限られた財源を「賢く使う」取組みを行うことが極めて重要とされています
2. 地方公会計に関連する改革工程表も示されています
3. H28年4月から開催されていた研究会の報告書が公表されました
4. 財政の効率化・適正化が大きな目的の一つです

●地方公営企業を取り巻く最近の動向

1. 地方公営企業の改革が求められています
 - ・公営企業・第三セクター改革
2. 経営健全化のために経営戦略を踏まえた抜本改革が必要です
3. 2016～2018年度は改革の集中期間とされています

(6) 研修をふりかえり

今回の研修会は、前の週の「防災」のテーマに引き続き連続で参加した。日ごろからこの「地方財政」については、自分にとってあまりにも訳が分からない状態であったからです。市政の調査と一般質問など組み立てていく中でも、基盤はその財政的な裏付けはどうなんだろうといつも疑問に感じていた。財源などを考えるのは役所の担当課の仕事だと言い切れないものを感じつつ、具

体的な打開策が全く分からずじまいだった。少しでもそのやりくりなどのヒントが分かればいいと考えた。また、そうでなくても国・政府の財政的な枠組みの知識が学べたらいいとも考えて参加した。

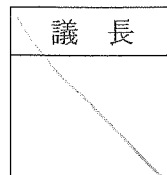
今回の講師陣はやはりその手のプロで、現実に自治体での顧問もしているような方々で、とても具体的にかつ、現実の自治体の数値資料などを用いてのグループ演習もあり実践的に学ぶことができた。ただ、即席の得た知識をフル動員しつつ進まなければならなかったのも、今回も（毎回のことだが）、頭を目一杯活性化させることが求められた。個人以外にグループでのワークショップの形式で、周囲の方々の影響もありなんとかついていくことができた。ただ、資料のデータなど専門的な語句がちりばめられており、十分理解はできなかった面があったことは否めない。

このような研修会・学習会は、地元でも開催できないものかと思ったが、同僚たちの問題意識の差などもあるので、やや実現は難しそう。でも共通したテーマは持てると思うので、今後検討していったらどうかと考える。もっとそういうことでの、切磋琢磨が必要な気がする。市議会として全体的なレベルアップを図るべきだ。今のところリードはなかなかだが、遅れはしないようにしていきたいものだ。

今後は、議会・議員活動において、一般質問や質疑の際に財政面を考慮した内容を話していけたらと思う。

この1月は自分にとって研修参加には、年間でベストな時季だと改めて感じた。

以上



活動結果報告書

平成 28年 1月 27日

越前市議会

議長 城戸 茂夫 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日 程 平成 28年 4月 14日(木曜日)～平成 28年 4月 14日(木曜日)

活動先 越前市内

活動目的 広報（議会便り発行）活動のため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

「かとう活動たより第21号」新聞折り込み

記事内容 「3月定例会 一般質問」

- ・18歳選挙権・主権者意識の啓発
- ・不登校・引きこもりの状況と課題 その他

以 上

3月定例会 一般質問

●18歳選挙権・主権者意識の啓発

- ・今夏参院選の投票率アップへの取り組み
- ・学校での取り組み
- ・投票環境の整備

●不登校・引きこもりの状況と課題

- ・全国と県内の状況と分析
- ・市の実施施策分析と課題

A 武生工業高校へ書記派遣。

選挙権引き下げの背景や選挙運動の注意事項など説明。生徒からはネット選挙運動に関心が。強い決意表明も。

Q 投票しやすい環境作りを!

A 歌詞のないBGMを流したり、投票所内のレイアウトを一層工夫したい。

Q 子ども(生徒)議会の実施を

A 児童会・生徒会活動で模擬的体験の場合ある。新庁舎建設の中高生による、ワークショップの開催も準備中。

② 不登校・引きこもりの状況と課題

A H26年度は、不登校数：小学校15名、中学校48名。30日以上欠席者数：小学校30名、中学校73名。

Q 具体的な対応策は?

A 教員、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカーで会議。担任が家庭訪問し支援活動。市の適応指導室への登校をお勧めなど。

Q 教員へのカウンセリングなどの対策は?

A 一人で抱え込まないように、絶えず連携、相談、支援する。市での引きこもり者の把握はどれくらいしているか?

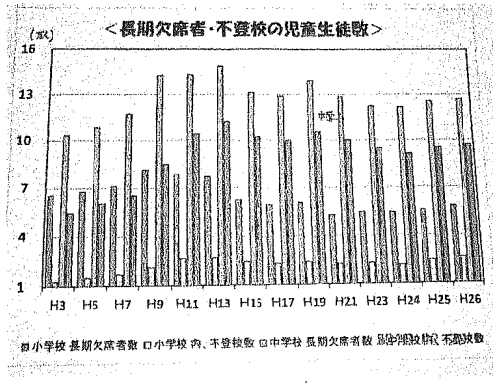
A E24年度実施も、実態把握は難しい。関連相談などでは、各数名有。個別に連携対応。

Q 長期化・高齢化への対応は

A 生活困窮者自立支援事業で、少しずつ成果出ている。

Q 今後の引きこもり支援の取り組みはどのような施策か?

A 就労意欲ある人・スキル持つ人などには、就労へのマッチングを整える。気軽に集える場の提供や組織作り等検討していく。



Q 不登校児童・生徒数の高止まりについて所感を。

A 市内の数字は低いですが、数は減少してなく、難しい課題。

Q 市内の小中学校での不登校数、30日以上欠席者数は?

●教育厚生委員会 (3/3)

- ・付託所管議案審議(質疑・討論・採決) ・H27年度一般会計補正予算 市介護保険・市後期高齢者医療特別会計補正予算 ・H28年度市一般会計予算 市国民健康保

他市(類似団体)との比較大切

◆川崎名人祝う会

(2/27) 市民ホール

・待望の名人位に。今後も期待

◆味真野小卒業式

(3/17)

・5名の卒業生でしたが、感動的でした。皆夢に向かってGO!

◆味真野幼稚園卒園式

(3/8)

・たった3名の卒業生でしたが、ピカピカの一年生にエール!

◆環境審議会

(3/24)

◆議会だより編集委員会 (3/17)

・第44号;3月定例会の一般質問・質疑、H28年度3月補正+新年度予算審議、表紙図案など論議しました。

◆編集後記

・日々春めいてきました。花粉症には、十分な予防策をとって、お過ごしくださいね!

* 3月定例会映像好評配信中!

ぜひともごらんくださいーい

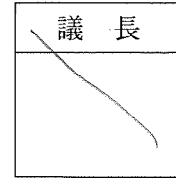
『かとう吉則活動だより』

・編集:越前市議会議員 加藤吉則

・〒915-0013 越前市宮谷町 66-36-1

・TEL: 090-2373-0771

・Eメール: katokichi66366636@yahoo.co.jp



3-2
5
3-7

活動結果報告書

平成28年5月25日

越前市議会

議長 城戸茂夫様

議員 加藤吉則



下記のとおり報告します。

日 程 平成28年5月

活動先 「かとう吉則活動だより」の発行 (No. 22)

活動目的 議会活動の広報

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

「かとう吉則活動だより」の新聞折り込みを通して、議員活動を市民に広く報告・お知らせした。

Series of horizontal dotted lines for additional reporting content.

◆教育厚生委員会

行政視察 (5/10~12)

大分・福岡・大阪への視察研修

- 竹田市「暮らしのサポートセンター」
センターにて説明・集い見学
- 久留米市「地域子育て支援センター」
市役所概要説明・施設現地見学
- 堺市「キッズサポートセンターさかい」
市役所概要説明・施設現地見学

◆暮らしのサポートセンター

◆久住りんどう ◆竹田市
へ市民が主役の支え合う仕組みづくりとその実践

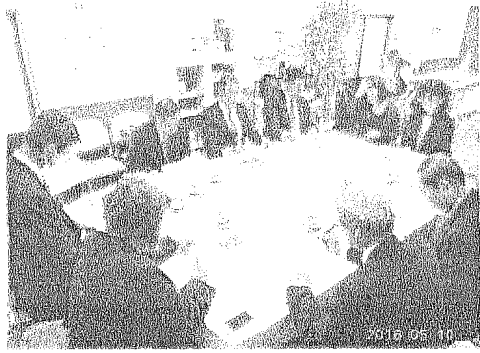
・市内7カ所にサポートセンター
1設立。要支援1・2・市内
34・3%。H22の構想、
H24の実践；拠点づくり、
ニーズ調査、サービス開発、
コーディネーターの配置。
H26市内全域への展開。

7つの中学校区に。

人材育成；サポーター要請セミナー開催、気づきの大切

さ・ニーズ調査；75歳以上対象、戸別訪問で聞き取り調査・地域ならではのサービスの創出

生活支援サービス…住民同士の助け合いを基本 暮らしのちよつとお困りを有償でお手伝い 利用料金：30分400円他 年会費：1000円 買い物・ゴミ出し・草刈り・病院への付き添いなど



◆子育て支援ボランティア

◆久留米市

・H19年特定非営利活動法人
子育て支援ボランティア
くるるん 駅前のもり
るん活動開始 商業施設のフロアにて
と親・子と子・親子をつなぐ

広場 交流・相談・啓発・人材育成・情報発信他事業展開
・91名登録 スタッフ9名
(幼稚園教諭、保育士、学校教諭など有資格者 年齢は20~80代 子育てパートナー養成講座年2回開催)

◆キッズサポートセンター

◆さかい ◆堺市

・H26年(高島屋9階フロアにて 子育て支援機能の強化(新しい交流の場・幅広い子育て支援サービスの提供) 都心の活性化(人が集い、交流する、新たなまちの賑わいの創出が急務) 遊びを出发点に集い、交流し、気軽に相談することで、子育ての孤立化を防止、不安感や負担感を軽減する まちの賑わいづくりもかねて。

・施設内：室内親子遊び場、イベントスペース、集い・交流の広場 各事業ゾーンを連携 大学と連携し発達障害の早期発見早期支援する。



◆味真野小・万葉中入学式

(4/6)

・ピカピカの1年生 皆さん楽しい学校生活を 頑張ってください！

◆議員協議会

(4/15)

・各所属審議会の報告&質疑

◆味真野 老人クラブ連合会

◆総会・追悼法要

(4/23)

◆議会だより編集委員会

(4/25)

・第44号編集内容議論

◆市防災士の会総会

(4/25) 健康福祉センター
新会員顔見せ パワーアップ

◆公会堂記念館企画展

(4/28)

・たおやかなる染の美く本友禅で彩る源氏物語

◆農業委員会

(4/28)

・農地法第3条、4条、5条の許可申請による意見審議について 利用集積計画にかかる決定について。

◆第34回万葉まつり

(5/3・4)

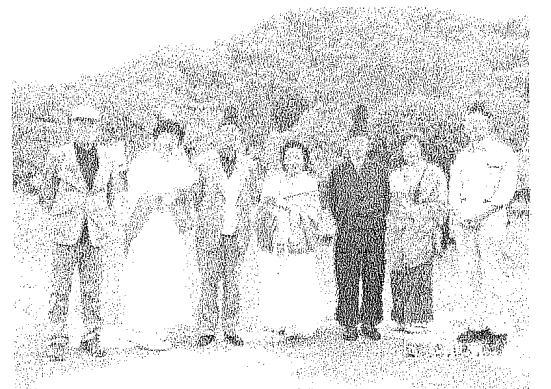
・3日は暴風が吹き荒れましたが、4日は安定し大勢のお客さんが参集しました。

◆MY政務活動費 H27年度

分報告(4/14) 調査研究・研修・広報広聴・資料作成・資料購入各費合計72万円也 次年度も、しっかり議員活動に役立ちます！

■編集後記

「議会モニター」制度が誕生しました。皆さんの目ですっかりチェックしてください。気温の差がとて大きい日があります。全体的には、気温は高めようです。熱中症などには十分気を付けて、お過ごしください！ 田植え作業も終盤ですね。安全作業で！
6月定例議会は6月10日(金)からスタートします。



* 3月定例議会映像好評配信中！

お声をお聞かせください

『かとう吉則活動だより』

・編集：越前市議会議員 加藤吉則

・〒915-0013 越前市宮谷町 66-36-1

・TEL：090-2373-0771

・Eメール：katokichi66366636@yahoo.co.jp



6月定例会 一般質問

●情報保守・管理のあり方と発信

- ・マイナンバー申請・管理状況について
- ・個人情報流出問題 ・市広報紙のあり方

●公務における非正規雇用

- ・非正規雇用の実態、推移状況は？
- ・問題点と課題 市民サービス低下克服を！

◆加藤の一般質問 6/16

1 情報保守・管理

①マイナンバー申請・管理状況

Q マイナンバーの申請・交付状況は？

A 5月末現在で4543人(5.5%)。発行数：13133枚。今年度中目標2500枚。

Q 個人ごとのポータルサイト(マイポータル)は危険性ないのか？

A なりすまし対策として、マイナンバーとパスワードが必要で、十分対策講じている。

② 個人情報流出問題

Q 情報セキュリティ監査の概要と進捗状況は？

A 所管するシステムの運用状況等確認した。結果、各課適切に管理・遵守されていた。

Q マイナンバーカード所有時の留意点は？

A 紛失しないよう管理を。紛失時はコールセンターに連絡し、停止処理に。カード裏面の番号を見せないように。

③ 市広報紙のあり方

Q 広報紙の発行部数は？

A H28年度は27550部

Q 購読率はどれくらい？

A 調査していないが、昨年10月から読者アンケート実施。述べ190人から300の意見。

Q 広報紙の紙面刷新・改善点は？

A デザイン一新。イベント・まちづくりで活躍している団体個人を取り上げ掲載。

より市民に親しまれる編集を。

2 公務における非正規雇用

① 非正規雇用の実態、推移

Q 市の正規・非正規の職員数は？ 推移状況は？

A H27年度庁舎内正規職員466人、嘱託102人、臨時125人。庁舎外正規135人、嘱託23人、臨時206人。

Q 再任用職員の実態は？

A H26年度から導入。H27年10人、H28年14人。

② 問題点と課題

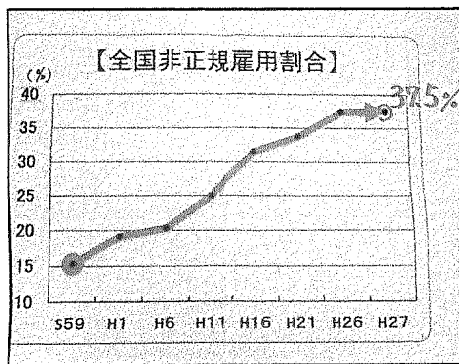
Q 今後の正規・非正規職員の確保予定は？

A 採用試験実施時期を前倒し、早期の人材確保。専門職確保が課題。IJUターナーや企業経験者の採用も取り組み中。

Q 九州地方熊本地震の教訓として、職員配置数など、どう考えるか？

A 現有職員を前提に、避難所開設・運営業務、災害対応業務に従事する。定期的な防災訓練や研修、検証作業し、迅速適切対応に努めていく。

◎官製ワーキングプアからの脱却・市民に安全安心を！



●教育厚生委員会 (3/3)

・付託所管議案審議(質疑・討論・採決) ・H27年度一般会計補正予算・市介護保険・市後期高齢者医療特別会

計補正予算 ・H28年度市

一般会計予算・市国民健康保険・市介護保険・市後期高齢者

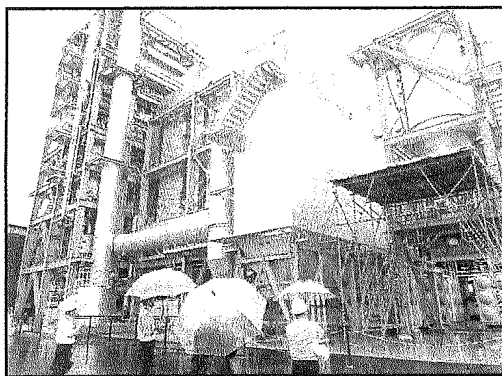
医療特別会計予算

・H28年度教育厚生委員会行政視察 ・調査項目の選定

・市民と議会と語る会について

●原子力防災等再生可能エネルギー特別委員会 (6/25)

・木質バイオマス発電所視察
・福井グリーンパワー・大野



●最終日 委員長報告・採決

(6/30) ・意見書「政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める」TPP協定を国会で批准しないことを求める請願に継続となりました。

◆市民と議会の語る会

教育厚生委員会 (5/20)

・Eアルプラザ4F・1部：地域ぐるみの福祉の推進、健康づくりの推進について説明&質疑応答 ・2部：議会報告&質疑応答 ・湯楽里の無料入浴券が

なぜ無くなったの？ 体育館の使用料を無料に等のご意見あり

◆デジタル無線運用開始式 (5/30) 南越消防本部

・設備説明と具体的対応視察入電有り、臨場感満載でした！

◆味真野小体育会 (5/28) 赤組、黄組に分かれ全力疾走

◆味真野地区戦没者法要 小丸城址 (6/3)

◆環境審議会 (6/3) 環境基本計画改定アンケート

◆災害初動対応トレーニング 中小企業大学校 (6/4) 実践的で大変勉強になりました

■編集後記 ■ 「議会モニター」制度が誕生しました。皆さんの目でしたっか

りチェックを。梅雨入りでジトジトですね。熱中症などには十分気を付けてください！ 除草作業は安全第一で！

* 6月定例議会映像好評配信中！

お声をお聞かせくださいーい

『かとう吉則活動だより』

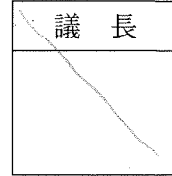
・編集：越前市議会議員 加藤吉則

・〒915-0013 越前市宮谷町 66-36-1

・TEL : 090-2373-0771

・Eメール : katokichi66366636@yahoo.co.jp





活動結果報告書

平成28年9月8日

越前市議会

議長 城戸茂夫様

議員 加藤吉則



下記のとおり報告します。

日 程 平成28年8月

活動先 「かとう吉則活動だより」の発行 (No. 24)

活動目的 議会活動の広報

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

「かとう吉則活動だより」の新聞折り込みを通して、議員活動を市民に広く報告・お知らせした。

Series of horizontal dotted lines for additional reporting content.

8月臨時会 8/1~2

- 一般議案：工事の請負契約について
- 先決承認案
- 市ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正について
- 報告等案件
- 専決処分の報告について
- 各種委員・議員の選任・選挙について

新しい顔ぶれで再スタート!

1 常任委員会選任 (敬称略)

① 議会運営委員会 7名

・長：川崎悟司 副：小玉俊一
前田修治 佐々木哲夫 川崎俊之 小形義信 佐々木富基

② 総務委員会 7名

・長：川崎俊之 副：吉田啓三
大久保健一 三田村輝士 中西眞二 西野与五郎 片粕正二郎

③ 教育厚生委員会 7名

・長：安立里美 副：清水和明
前田修治 小玉俊一 佐々木哲夫 佐々木富基 福田往世

④ 産業建設委員会 7名

・長：伊藤康司 副：吉村美幸
加藤吉則 霜実男 小形義信
川崎悟司 前田一博

2 事務組合議会議員選任 (敬称略)

① 南越消防組合 9名

前田修治 大久保 清水 吉村
吉田 川崎悟 中西 西野 伊藤

② 南越清掃組合 9名

小玉 加藤吉則 霜 安立 川崎
俊 小形 佐々木富 福田 片粕

③ 丹南広域組合 5名

大久保 吉村 佐々木哲 三田村
川崎悟

④ 丹南病院組合 4名

清水 霜 安立 中西

⑤ 越前三国競艇企業団 5名

前田修治 川崎悟 前田一 伊藤
片粕

⑥ 後期高齢者医療広域連合 1名 川崎俊之

● 監査委員 1名 佐々木富基

◆ 議員研修 (7/14)

・「質問・質疑のあり方」by 伊藤藤夫氏 一般質問と質疑の違いや多方面にわたる学習と地域住民との結びつきの大切さを学びました。

◆ 奇跡の菊人形展開場式参列

市公会堂 (7/22)

● 全員説明会 8月臨時会

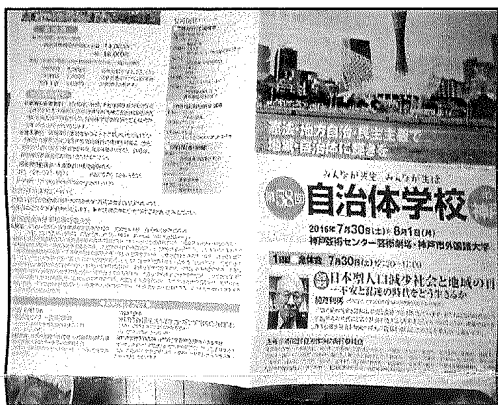
◆ 農業委員会 (7/29)

・小委員会 (7/20)
現地調査確認 北山町



◆ 自治体学校 市神戸 (7/30、31)

・「憲法・地方自治・民主主義で地域・自治体に輝きを」
・全体会記念講演 by 加茂利男氏 「日本型人口減少社会と地域の再生—不安と混迷の時代をどう生きるか」

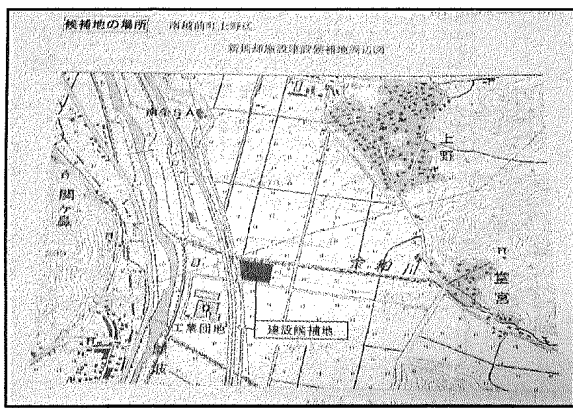


◆ 県道期成同盟会合同総式 (8/5) 市Hクラウンヒルズ

・武生・菅生線等3県道修繕など

◆ 環境審議会 (8/23)

・市民・事業者アンケート集計状況
・低炭素社会実現のための未利用資源の活用と省エネルギー
・ごみ焼却施設建設について (南越清掃組合) ・環境基本計画改定重点的取り組みについて (第3章分野別)



新焼却炉建設予定地 in 上野

◆ 生活保護問題議員研修会

市富山 (8/26・27)

・「貧困の連鎖」を断ち切るために富山で生活保護を考える」
・分科会「低所得者への医療保障 (国保・無料低額診療事業・医療扶助) を考える」に参加。

第8回生活保護問題議員研修会
低所得者への医療保障
～無料低額診療事業と生活保護・医療扶助
2016年8月26日
花園大学 吉永

◆ H28年度4、6月期政務

活動費関連書類提出
計18万円の内、102,650円使わせていただきました。

■ 編集後記

「議会モニター」制度が誕生しています。皆さんの目ですっかりチェックを！気温の変動が激しいですね。熱中症などには十分気を付けて下さい！

* 9月1日から9月定例会!

* 6月定例議会映像好評配信中!

お声をお聞かせください

『かとう吉則活動だより』

・編集：越前市議会議員 加藤吉則
・〒915-0013 越前市宮谷町 66-36-1
・TEL：090-2373-0771
・Eメール：katokichi66366636@yahoo.co.jp



3-12
5
-16


様式第4号(第5関係)

活動結果報告書

H28年10月20日

越前市議会

議長 城戸茂夫 殿

議員氏名 加藤吉則 

下記のとおり報告します。

日 程 H28年10月 13日(木曜日)～ 10月 13日(木曜日)

活動先 越前市内一円

活動目的 活動たより第25号発行のため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

・「加藤活動たより」第25号発行

・市民への議会・議員活動報告

・福井新聞折り込みにて広報

・内容；●9月定例会 9/1～23 既報+α

◎加藤一般質問；①高齢者福祉の充実

②観光行政について (前号)

●第2回 南越清掃組合議会 10/3

◎加藤一般質問；*新焼却炉建設問題について (*南条上野地区にH29年10月着工、H32年供用開始予定)

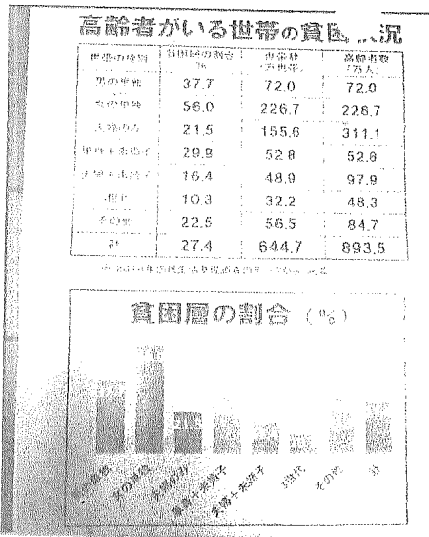
.....
.....
.....
.....
.....

9月定例会 9/1~23 既報+α

◎加藤一般質問：①高齢者福祉の充実 ②観光行政について (前号)

第2回 南越清掃組合議会 10/3

◎加藤一般質問：*新焼却炉建設問題について (*南条上野地区にH29年10月着工、H32年供用開始予定)



- ◆加藤の一般質問・討論項目
- 1 高齢者福祉の充実
 - 2 福祉サービス利用援助事業

◆農業委員会 (9/30)

- ・農地法3・4・5条既定の許可申請について
- ・農用地利用集積計画&決定について
- ・農用地利用配分計画案に係る意見審議について
- ・「臨時国会でTPP協定を批准しないこと」を求める建議「提案について

◎決算特別委員会 (9/29)

- ・産業建設分科会にて
- ・産業環境部所管：一般会計歳入歳出決算項目審査
- ・建設部所管：一般会計歳入歳出決算項目+・(下)水道事業特別会計歳入歳出決算等審査

◎観光行政について

- 1 観光資源の開発
- 2 越前市の魅力発信

◎討論：「臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める請願」の採択に賛成する討論に立ちました。理由：9月臨時国会で強行を狙い、次の二つの点で国民を欺くモノである。

- ①聖域を守るとした国会決議を完全に踏みにじった!
- ②農業や関連産業、地域経済への深刻な打撃を無視のものとしたまやかしの「経済効果試算」

採決の結果、賛成少数で否決。

◎南越清掃組合議会 (10/3)

◆加藤の一般質問項目

◎新焼却炉建設問題について

- ・現在、家久の焼却炉老朽化に伴う新築移転計画 南条にH29年造成・建設工事
- ・H32年新ごみ処理施設稼働

Q. これまでに地元で実施された説明、周知方法の概要は?

A. H25年11月に上野区より各種調査同意。区長会に報告し、広報紙で周知を図った。他

Q. 建設地決定経緯は?

A. 南越前町・池田町での複数の候補地から、詳細に検討した結果、当上野区に決定した。

Q. 事前実施された生活環境影響調査の結果の周知方法は?

A. 調査の実施前に、調査方法について広報紙に掲載、調査対象地区へ出向き説明し周知を図った。4月から公告縦覧し、周辺集落で説明会開催や広報紙にて周知を図った。

Q. 経緯を含め丁寧な説明会を再度開催を!

A. 集落や各種団体の要請に基づき、説明会の開催や先進施設への視察など、誠意をもって対応していく。

賛同しましたが、今後各委員会で審議することになりました。

◎新焼却炉建設問題について

Q. これまでの説明会での住民の不安、疑問点など整理して回答と合わせ地区内全住民に広報、周知を!

A. 引き続き南越前町と協議の上、さらなる周知に努めていく

Q. 建設後の生活環境影響調査結果の公表と説明会実施を!

A. 事後調査は義務付けられていないが、予測結果を検証する事後調査を実施したい。公害防止協定に基づき、住民への周知を図っていききたい。



◆話題の政務活動費とは?

・富山県・市議会議員による政務活動費不正使用問題が浮上し、改めて「政治と金」が問われています。本来、政務活動費支出の対象項目は、①調査研究費②

◆菊人形開場式 (10/6)

・第65回を迎え、会場のレイアウトも変更し再スタート。

・OSKレビュージョーは文化センター大ホールにて開演中。

◆編集後記

・「議会モニター」制度が誕生しています。皆さんの目ですっかりチェックを! 実りの秋ですね。健康を維持すべく、体を適度に動かしましょう!

・研修費③広報費④広聴費⑤要請・陳情費⑥会議費⑦資料作成費⑧資料購入費⑨人件費⑩事務所費と規定されています。

越前市議会では「手引き」を発行し議員に周知しています。

月6万円、未使用額は返納します。全議員の報告内容はホームページから市議会↓政務活動費へアクセスして下さい。

・改めて私の活動費の概要をご報告します。H27年7~2万円。H28年4~6月期計18万円、内102,650円使わせていただきました。7~9月期は10月下旬以降報告いたします。

* 9月定例会映像好評配信中!

お声をお聞かせください。

『かとう吉則活動だより』

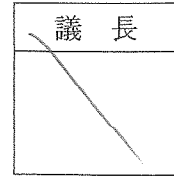
・編集：越前市議会議員 加藤吉則

・〒915-0013 越前市宮谷町 66-36-1

・TEL: 090-2373-0771

・Eメール: katokichi66366636@yahoo.co.jp





3-17
1
-20

活動結果報告書

平成 28年 1月 27日

越前市議会

議長 城戸 茂夫 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日 程 平成 28年 11月 9日(水曜日)～平成 28年 11月 9日(水曜日)

活動先 越前市内

活動目的 広報（議会便り発行）活動のため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

「かとう活動たより第26号」新聞折り込み

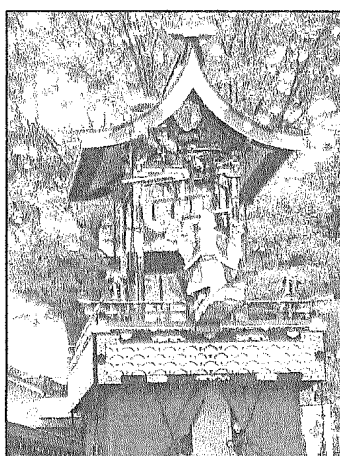
・記事内容 「勉学の秋 行政視察 友好姉妹都市高山市へ」

「丹南地区議長会議員研修会」 「市町議会議員合同研修会」 その他

以 上

*** 勉学の秋！ 行政視察**
*** 友好姉妹都市高山市へ**
 ー日本一広い高山市議会と行政懇談会ー
研修会
*** 丹南地区議長会議員研修会**
 ー「常任委員会・議会運営について」ー
*** 市町議会議員合同研修会**
 ー「期待される議会改革のあり方」ー

台曳揃えは見送り。からくり屋台は桜山八幡宮境内に登場。天候回復し、多くのツアー客で周辺は混雑。毎年20万人以上集まっているとか。スケールが違いますね。



◆ 丹南地区議長会議員研修

(10/11)

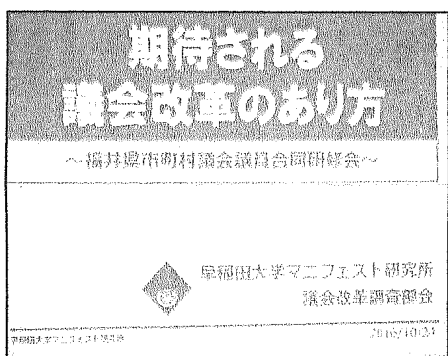
講演・野村稔氏「常任委員会／議会運営委員会の役割について」・常任委員会の役割は①付託された議案の審査②所管事務調査があるが、現状は①中心。話題の「政務活動費」について、本来領収書は必要ない。それくらい議員活動は多忙であるべき。議案を事前に支持者や町内会長、関係者に伝え、長短所を把握し、委員会で質疑するべきと。確かにそれくらいのことをやらないと！

◆ 市町議会議員合同研修会

(10/24)

講演・中村健氏「期待される議会改革のあり方」
 ・議会は住民から何を期待されているのか？」「総合計画にある将来の都市像は？」「住民が期待していること・予算掛けるどう変化したか？」「議会だよりはなぜ読まれないのか？」「議会傍聴はなぜ住所氏名を書かせるのか？」等々、議会の地域で果たす役割を再認識。議員の存在意義を今一度点検し、改善していかなくては！

「総合計画にある将来の都市像は？」
 「住民が期待していること・予算掛けるどう変化したか？」
 「議会だよりはなぜ読まれないのか？」
 「議会傍聴はなぜ住所氏名を書かせるのか？」
 「地域で果たす役割を再認識。議員の存在意義を今一度点検し、改善していかなくては！」



◆ 環境審議会 (10/11)

・環境基本計画改定の件・第3章の修正・検討・審議。

◆ 農業委員会 農村活性化

◆ 審議「拙速にTPP協定を批准しないことを求める意見書」の採択に賛成する意見を述べました。時期的に県へ提出期限が過ぎていたのでどうかという意見も。結果、小委員会などで再審議をすることに。

◆ 農業委員会 (10/31)

・農地法3・5条規定の許可申請について。農用地利用集積・配分計画について

◆ 臨時国会でのTPP批准承認

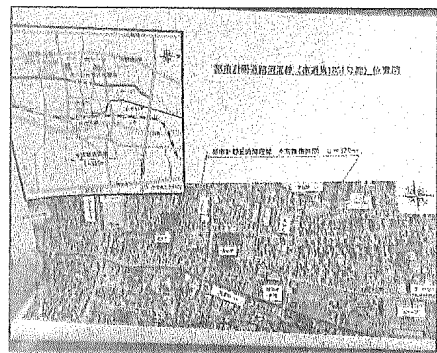
・臨時国会でのTPP批准承認を慎重に行うことを求める意見書(案)：当初の内容を修正して可決され、上部機関へ送付されることになりました。県内では初めてで画期的です！

◆ 議員協議会 (10/25)

・「政務活動費について」
 ・議員間の討論①事業実績書の日付は、領収書の日付で②領収書のHP公開は次年度から③活動結果報告書のHP公開も④議会だよりにより収支一覧表の掲載⑤活動費支出を後払い制に④⑤は議会運営委員会にて再協議に。

◆ 産業・建設委員会協議会 (10/25)

①都市計画道路河灌線整備事業現地視察をしました。福井国体に向けて体育館など会場への交通アクセスになります。事業費；15億余円。平出、深草付近で区間320m。用地3500㎡・27物件が移転対象に。



◆ 吉野瀬川ダム事業計画

整備状況確認のため、現地へ視察。主に県の事業です。勝蓮華町・小野町付近一帯が水没予定ダムは、幅184m・高さ58m。県道付け替え拡幅工事、橋の新設工事なども進められています。

◆ 味真野小学習発表会 (10/15)

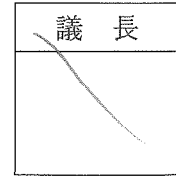
・1年生から6年生までの子どもたちが、各学年で合唱や合奏、研究発表など、保護者ら多数見守る中で、元気よく繰り広げました。1年前とはすごい成長ぶりです。とても驚きました。

◆ 市戦没者追悼式・慰霊法要 (10/20)

■ 編集後記
 ・「議会モニター」制度が誕生しています。皆さんの目でしたっか。りチェック！秋も終盤ですね。季節の変わり目、健康管理を十分して、風邪をはねのけよう！

* 9月定例議会映像好評配信中！
 お声をお聞かせください。
 『かとう吉則活動だより』
 ・編集：日本共産党市議会議員団
 越前市議会議員 加藤吉則
 ・〒915-0013 越前市宮谷町 66-36-1
 ・TEL：090-2373-0771
 ・Eメール：katokichi66366636@yahoo.co.jp

* お詫び：前回発行のは第25号でした。



活動結果報告書

平成 28年 1月 27日

越前市議会

議長 城戸 茂夫 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日 程 平成 28年 12月 19日(月曜日)～平成 28年 12月 19日(月曜日)

活動先 越前市内

活動目的 広報（議会便り発行）活動のため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

「かとう活動たより第27号」新聞折り込み

・記事内容 「12月定例会 一般質問」

「営農・農地集積の現状と課題」 「鳥獣被害克服に向けて」 その他

以 上

12月定例会 一般質問

●持続的営農に向けて

(1) 営農・農地集積の現状と課題

① 営農の現状 ② 農地集積状況

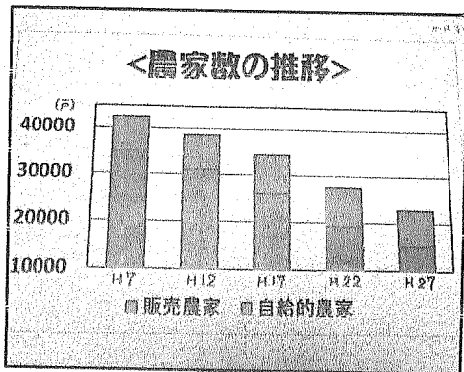
③ 農機修理代の助成を

(2) 鳥獣被害克服に向けて

① 被害状況 ② 捕獲状況

③ 被害軽減に向けて サル対策を

高校の進路事情を調査し、意欲ある若者の誘致を進めている。新規就農者：累計で11名。認定農業者：132経営体。



Q. 出し手と受け手間のトラブル解決に向けた方策は？

A. 地元農業委員や農業公社が間に入り解決した事例がある。お互いの理解を図るべくよく話し合うことが大切。

Q. 受け手の営農持続問題で市側の対応やフォロー体制は？

A. 今年の例では周囲の担い手に分散し耕作を引き継ぐことができた。迅速に対応できる体制づくりについて関係機関と協議、検討を進めている。

Q. 集落営農や認定農業者への市としての農機修理代の助成など検討を！

A. 農機具更新の支援は5年間の経営改善計画の策定が要件になっている。

A. 県園芸カレッジや県内農業

Q. 中山間地でも持続できる営農に対して助成の拡充を！

A. 田植えや稲刈りについて支援する、県のいきいき地域営農サポート事業がある。

(2) 鳥獣被害克服に向けて

Q. 直近の被害面積と金額は？

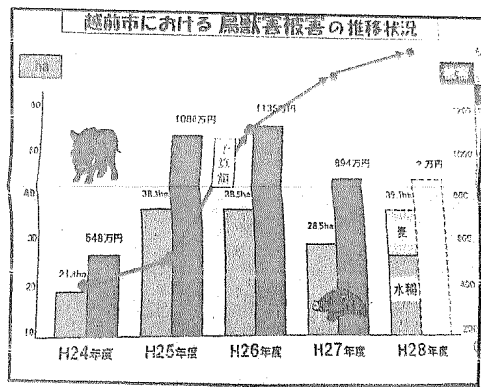
A. 水稲被害：27.4ha。新たにシカによる表被害11.7ha。

Q. 農業共済以外の的確な実態把握資料はないのか？ アンケートなど実施しては？

A. 他にはない。昨年度アンケートを実施したが、主観が入り客観性に欠け正確な実態把握は難しい。

Q. 防護柵の設置状況は？ また、問題点・課題は？

A. 電気柵は累計31.6km、ワイヤーメッシュは55.6km、緩衝帯は75.7km。設置後の適正な維持管理ができていないため、侵入している。集落への指導を強化し、集落ぐるみでの対策を進めていく。



Q. 今年の捕獲目標と実績は？

A. イノシシ700頭に対し、386頭（イノシシが檻を警戒するようになったからか）シカ40頭に対し、48頭。

Q. サルの被害への実効性ある防止対策を早急に！

A. 県の特定計画に基づき実施計画策定。防除と捕獲を行う。捕獲檻は吉野と味真野地区に11月下旬設置した。

Q. 県猟友会の現状状況は？ 現状打開に向けた具体策は？

A. 南越支部：68名、今立支部：10名。狩猟免許取得時の事前講習会費用の全額を補助。狩猟免許取得や猟友会への加入を呼びかけていく。

Q. イノシシやシカによる圃場や周辺部の復旧に対する助成制度は？

A. 特にはないが、多面的機能交付金で「農地法面の初期補修」として、対応が可能。

日本共産党議員団代表質問

前田修治議員団長の質問項目

1. 戦争法(安保法制)に対する市長の見解は？

2. ひとり親家庭への児童扶養手当の毎月支給を！

3. 生活保護制度について 市での実態把握を実施し適切な対応を！

4. 保育料の軽減について 少子化対策、子育て支援として

5. 国民健康保険の広域化について 加入者の生活実態を顧

みない収納強化に走る懸念
6. 中学校のクラブ活動について 教職員数の削減に伴い、くつかの部活を削減するのは子どもたちの期待を裏切ることになる

議員説明会 (11/25)

・都市計画マスタープラン
・立地適正化計画
・水道施設更新計画
・下水道経営戦略
・子ども読書活動推進計画

決算特別委員会全体会 (11/7)

・H27年度各会計決算認定案審査について 産業建設委員会での審査結果報告、質疑、討論、採決

編集後記

「議会モニター」制度が誕生しています。皆さんの目ですっかり監視を！ 冬の季節ですね。気温も下がっています。健康管理を十分して、インフルエンザを遠ざけましょう！

* 9月定例会映像好評配信中！

お声をお聞かせください。

『かとう吉則活動だより』

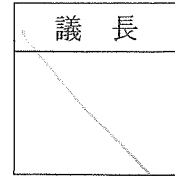
編集：日本共産党市議会議員団

越前市議会議員 加藤吉則

〒915-0013 越前市宮谷町 66-36-1

TEL : 090-2373-0771

Eメール : katokichi66366636@yahoo.co.jp



3-24
5
-29

活動結果報告書

平成 28年 1月 27日

越前市議会

議長 城戸 茂夫 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日 程 平成 29年 1月 25日(水曜日)～平成 28年 1月 25日(水曜日)

活動先 越前市内

活動目的 広報（議会便り発行）活動のため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

「かとう活動たより第28号」新聞折り込み

・記事内容 「12月定例会 part2」

「意見書審査・採決結果」 「政務活動費報告」 「H28年度市予算と施策について
申し入れ」 その他

以 上

12月定例会 part2

●意見書審議・採決結果について

- ①政府への農業者個別所得補償制度の復活を求める意見書
- ②高浜・大飯・美浜原発の運転再開に反対する意見書
- ③教員の働き方の改善に関する意見書
- ④所得税法第56条の廃止を求める意見書
- ⑤地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

◆意見書審議採決結果

①政府への農業者個別所得補償制度の復活を求める意見書
 採択(可・否決同数 議長判断)
 ・加藤の賛成討論要旨…個別所得補償制度は農家を下支えしてきたが、H30年度から廃止予定で、営農に大打撃。生産費も賄えず、経費が増大する中で離農者が相次ぎ農地の維持が危機的に。競争力ある強い農業一辺倒ではなく国民の食糧と地域経済環境と国土保全のための地域農業を守る方策こそ重要!

②高浜・大飯・美浜原発の運転再開に反対する意見書

不採択 賛成少数
 ・加藤の賛成討論要旨…廃炉原則がなし崩し的に形骸化。避難先での子供のいじめ、甲状腺がんの発生、避難者への住宅支援打ち切り、使用済み燃料の問題など三解決。世論は推進反対に。原発マネー7.6億円政府の推進に。国民の命より企業利益優先。市民の命と暮らしの安全。安心が問われている! 黙すれば賛同と同じ。子ども、孫たちに誇れる近未来の希望ある社会づくりを!

③教員の働き方の改善に関する意見書

採択 可決賛成多数
 ④所得税法第56条の廃止を求める意見書; 不採択

⑤地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

採択
 ◆決議案審議
 ○衆院の合区解消に関する決議
 議会運営委員会より提出

◆産業建設委員会審議

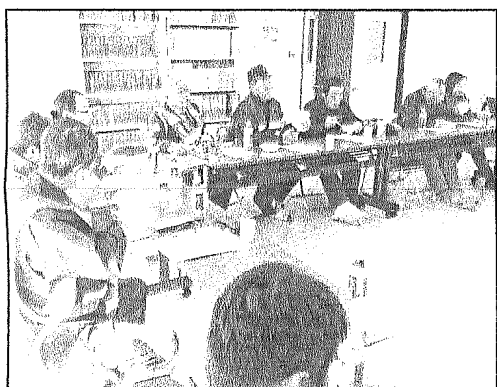
○下水道特別会計補正予算
 ・加藤の質疑要旨…①汚水処理人口比率現87.9%、今後の進行予定地域は? ②下水道施設に接続しなくてもいいのか? ③負担金はいらぬのか? ④受益負担が原則だが、使わない場合は払わなくてもいいのか?

◆農業委員会 (12/27)

・農地法3.5条規定の許可申請について。買受適格証明願について審議しました。
 ・「政府への農業者個別所得補償制度の復活を求める意見書」次期小委員会にて審議されることになりました。

◆防災訓練検証会議(12/1)

・教訓;サイレン吹鳴のタイムラグの問題あり。
 ・町内ごと訓練 AED講習、非常食試食、炊き出し確認、土嚢作り(袋裂けた)消火栓点検等リュックサック準備やヘルメット着用した人はわずか



・参加人数 1507世帯中約1000余人(60~70%)
 ・障がい者・要配慮者など課題
 ・事前に、訓練チームの周知徹底を図るべき。事前の具体的

内容を準備してはどうか。

・町内任せだったので良かった面も。工夫して町内の各世帯を把握した。独自に実施済み。

●今回の訓練の評価

・10年ぶり?でそれなりの課題や問題が浮かび上がり、確認できてよかった。
 ・防災グッズの点検や避難経路の確認も。
 ・危険個所の再確認

・防災意識の高揚あり。
 ・日頃の町内近所のコミュニケーションづくり大切も、希薄な現状がある。他

◆政務活動費報告

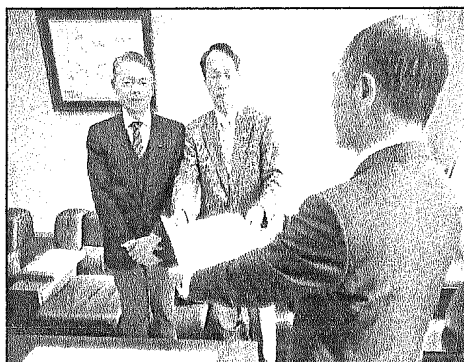
政務活動費支出の対象項目は、
 ①調査研究費②研修費③広報費④広聴費⑤要請・陳情費⑥会議費⑦資料作成費⑧資料購入費⑨人件費⑩事務所費と規定されています。越前市では月額6万円、未使用額は返納します。
 各議員の報告内容は、市ホームページから市議会↓政務活動費へアクセスしてください。

・加藤の活動費の概要をご報告。
 各期18万円支給。H28年4~6月期:102,650円使用、7~9月期:178,433円使用、10~12月期:181,930円使用しました。
 広報費・研修費が主要です。

H28年度市予算と施策について申し入れ (11/24)

日本共産党議員団
 ・越前市における、2017年度の子算編成と施策の立案にあたって、暮らしの安全・安心

を求める住民の声に答え、社会保障制度をより充実させるとの観点から、何よりも住民の生活と健康、福祉を守る市政の実現を図ること。そのために、各所管部局へ52項目具体的施策の実現を求めました。



■編集後記

「議会モニター」市民の皆さんからのご意見ご要望をお寄せください! 冬真つ盛り、健康管理を十分して、インフルエンザを遠ざけましょう!

* 12月定例議会映像好評配信中!

お声をお聞かせください。

『かとう吉則活動だより』

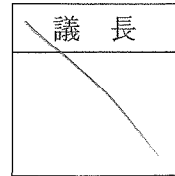
編集: 日本共産党市議会議員団

越前市議会議員 加藤吉則

〒915-0013 越前市宮谷町 66-36-1

TEL: 090-2373-0771

Eメール: katokichi66366636@yahoo.co.jp



3-30
1
-33

活動結果報告書

平成 29年 3月 16日

越前市議会

議長 城戸 茂夫 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日 程 平成 29年 3月 15日(水曜日)～平成 28年 3月 15日(水曜日)

活動先 越前市内

活動目的 広報（議会便り発行）活動のため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

「かとう活動たより第29号」新聞折り込み

・記事内容 「3月定例会」

「加藤の質疑Q&A」 「議員研修会2回分報告」 「議会モニターと意見交換」 「農業委員会定例会」 「環境審議会」 その他

以 上

2017年3月定例会

●H29年度一般会計当初予算
367.8億円 2.9%伸び 過去最大!

●特別会計:217億円

●企業会計:28億円 計612.6億

①予算案14件・補正予算、H29年度(一般会計、特別会計他) ②条例案10件

Q2. 340件(内:住民票の写し:39、515件)

Q3. 「混雑解消」というが、市民課窓口などでの混雑ぶりは?

A. 3月から5月までの異動時期、新年度の所得証明が取れる6月、お盆や年末年始などは通常の2倍から3倍以上のお客様で混雑。

Q4. 政府の目指す、個人番号カードの普及促進策は?

A. 国においては、マイナポータルを活用した子育てワンストップサービスの子育て分野の内、児童手当の認定請求や現況届、氏名変更・住所変更等の届出、妊娠の届出等の各手続きは、本年7月以降サービスが開始されると説明あり。

Q5. 個人情報やプライバシーは守られるの? リスクへの対応策は大丈夫か?

A. 個人番号カードのICチップには税情報や年金情報等のプライバシー性の高い個人情報記録されていません。カードを紛失した場合、コールセンターに連絡しカードの一時停止処理を行うことで、第三者のなりすまし利用が防止できるなど、リスクへの対策は万全に施されていると考えています。

Q6. 市職員の申請状況は? 市民へのおススメ度は?

A. 平成29年2月20日現在、92人の市職員が申請。Q7. 個人番号の記載について、強要しないでほしい!

A. まだ、充分に知らない市民の方も多く、今年は、税務署と協議の上、記載がなくても申告を受け付けることにした。来年からは原則どおりになると、税務署も言っているので、今年申告に来られた方に、個人番号の記載に関するちらしを配布し、周知に努めている。

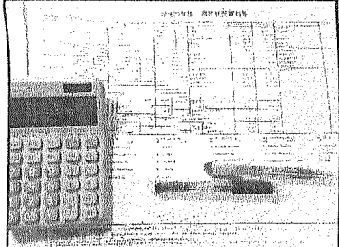
◆産業建設委員会所管調査 (1/16)

・観光資源の開発・上水道の整備について
・市民と議会の語る会:7月上旬、伝統産業関係者と予定、視察は5月22日、

◆議員研修会に参加

・1/12~13 大津
「防災と議員の役割」・災害の正しいイメージづくりを訓練・いざという時に体が動く要援護者と支援者(名簿の事前配布)・住宅耐震化の被害軽減効果・「魅力増進型」の防災へ

市町村議会議員研修 [2日間コース] 「防災と議員の役割」 研修教室 講堂



・1/19~20 大津
「地方財政指標の見方」
・資金繰り指標・実質収支(赤字)比率 3~5%程度が望ましい
・経常収支比率 70~80%が望ましい
・実質公債費比率 18%以上になる
と起債許可団体 25%以上になると早期健全化団体 35%になると一般公共事業の起債も一部制限
・将来負担比率 市町村では350%以上になると早期健全化団体になる

市町村議会議員研修 [2日間コース] (自治体財政の見方 ~健全化判断比率を中心に~) 演習教室 大教室1

◆議会モニターと意見交換会 (12/16)

・第1期議員と議会モニターの方々の意見交換会に参加。立候補への動機や議員になる前後での感想などについて話をしました。初心忘るべからずと肝に銘じました。

◆南越清掃組合臨時会 (12/26)

・H28年度一般会計補正予算・組合施設周辺地域振興基金条例の制定について
・財産の取得について
・新353㎡ 1億3635万円

にて地権者5名。

◆農業委員会 (1/31)

・農地法4・5条規定の許可申請について
・農用地利用集積・配分計画について

◆農業委員会 農村活性化

◆特別委員会 (2/1)

・個別所得補償復活を求める建議について、討論・審議。定例会で報告も、不採決に。

◆環境審議会 (2/2)

・環境基本計画改定(案)について
・環境白書について

●3月定例会 一般質問項目は、次号にて掲載いたします! 乞うご期待。防災がテーマです。

◆編集後記

・「議会モニター」制度が誕生しています。皆さんの目です。かり監視を! 三寒四温。体調管理に留意して、インフルエンザを遠ざけましょう!

* 9月定例議会映像好評配信中!

お声をお寄せください!

『かとう吉則活動だより』

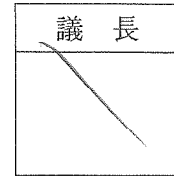
編集: 日本共産党市議会議員団

越前市議会議員 加藤吉則

〒915-0013 越前市宮谷町 66-36-1

TEL: 090-2373-0771

Eメール: katokichi66366636@yahoo.co.jp



活動結果報告書

平成 29年 1月 15日

越前市議会

議長 城戸 茂夫 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日 程 平成 28年 10月 27日(木曜日)～平成 28年 10月 27日(木曜日)

活動先 平林町 豊田よし子様宅

活動目的 市政報告会+要望・意見聞き取り その他

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

●議員活動2年間余（27か月）の概要報告 ・計5名出席

1. 一般質問内容項目（2年間分）の紹介

2. 10年内予定している市の大型事業の説明

3. 特に、社会保障関連予算（介護保険、国民健康保険、後期高齢者医療）
額の推移など説明

・国政含め、市政への全般的な質問・意見・要望の聞き取り

・米大統領選挙について ～二人の言い争いは見にくいケンカだ！

・戦争にまきもまれてはいけない これまで日本はすべて、アメリカ
の戦争に巻き込まれてきている 戦争をしても、巻き込まれ
てもいけない！

・TPPについて ～東北6県の内5県が反対している アメリカは
食品安全性基準が低い 輸入するとき「農薬」と言わず「添
加物」などと言ってごまかしている

・介護費用は、市民負担は何%ぐらいか？ ⇒ここでは不明なので日
調べて回答することに

施設入ると、月20万円くらいかかるとか聞いた とてもお金ない

・延命治療はストップしたらいい 本人が何もわからずに周りが喚いているだけ ただ、家族の了解はいるとか聞いているが 病院に入って生きてるか死んでるかわからん人生かすのは問題

・鳥獣被害について ~イノシシ以外にサルの被害はおさまっていない。 サルは賢く小脇に野菜モン抱えて運んでいる あちこちでやられているわ

・財政問題 ~日本はこれまでも、借金パーにしたこと2回あった どう見ても今の政府は返す気はない どうするのか 公務員をもっと辞めさせないとアカン

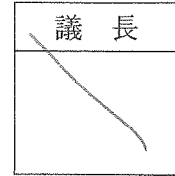
・米価 ~昔はコシヒカリ2.2万円だった 今は半値くらいまで落ちている 普通に言ってやっていけない 米価は毎年下がる 上向かない 気持ちもなくなってしまう やる気が萎みっぱなし

・営農 ~若いもんは仕事行って休みの日にやるんかというやらない赤字になるのに、田んぼすることをあほらしいと感じている 後継者はどこもない状態だ これからどうなるんやろか

・マイナンバー ~JAで持ってきてと言われた 孫に100万円お祝いに下すと オレオレ詐欺に間違われた 単に公務員の仕事増やすだけだ ...

他

以上



4-2
-3

活動結果報告書

平成 29年 1月 15日

越前市議会

議長 城戸 茂夫 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日 程 平成 29年 1月 15日(日曜日)～平成 29年 1月 15日(日曜日)

活動先 宮谷町生活改善センター

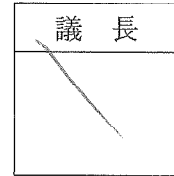
活動目的 市政報告会（緊急通報装置案内）のため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

●奥宮谷町センター総会時資料配布

- ・資料；「緊急通報装置」について 市長寿福祉課
- ・事業概要案内 ・目的 ・対象 ・設置実例 など
- ・参加数 ； 約40名余
- ・質問は特にありませんでした。 希望者は加藤まで連絡要請。

以 上



活動結果報告書

平成 29年 1月 22日

越前市議会

議長 城戸 茂夫 殿

議員氏名 加藤 吉則



下記のとおり報告します。

日 程 平成 29年 1月 22日(日曜日)～平成 29年 1月 22日(日曜日)

活動先 宮谷町公民館&味真野団地ふれあい会館

活動目的 市政報告会（緊急通報装置の案内他）のため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

●宮谷区総会総会&味真野団地総会にて

・資料；「緊急通報装置」について 市長寿福祉課

・事業概要案内 ・目的 ・対象 ・設置実例 など

・参加数 ； 宮谷区総会；約60名 味真野団地総会；約45名

・質問 ；～誰か町内で設置しているのか？ ⇒ 数名います。

～対象は何歳から？ ⇒ 原則65歳以上です。

～年寄りしかダメなのか？ ⇒ いいえ。ただし費用が実費かかります。

・希望者は加藤まで連絡を要請。

以 上